

30年のあゆみ

1993(平成5年) ▶ 2023(令和5年)



「子ども達、がんばる！！」

(育成部行事「ラジオ体操・七夕飾り」参加の皆さん・令和5年8月)

明るく潤いのある、安全で安心な住みよい街づくり

令和5年8月

しんえい西自治会



目 次



● 写真(しんえい西自治会館全景)	2
● 30年のあゆみ発刊のご挨拶	しんえい西自治会 会長 花松 繁 3
● お祝いのことば	しんえい西自治会 顧問 坪坂 昇 4
● 歴代自治会長の紹介(古部貞春氏・関口栄吉氏)	30年のあゆみ編集担当者 5・6
● しんえい西自治会の誕生は・・・	しんえい西自治会 顧問 瀬戸山興平 7・8
● 自治会専門部のあゆみ	30年のあゆみ編集担当者・各部長 9～24
(総務部・会計部・社会福祉部・青少年育成部・環境衛生部・ 防犯防災部・交通安全対策部・女性部・会館担当部・IT管理部)		
● しんえい西団地のロケーションと防災について	しんえい西自治会 第6A班 川村 信人 25～35
● 寄稿御礼と著者・川村信人氏のご紹介	30年のあゆみ編集担当者 36
● 写真で見る、私たちの街の四季	30年のあゆみ編集担当者 37～42
● 年 表(自治会のあゆみ)	30年のあゆみ編集担当者 43～48
● はるにれ会のあゆみ	はるにれ会 会長 久保 雅之 49～51
◆ 資 料 編 (目次)	52
① 自治会歴代役員状況	53～59
写真紹介(各頁下余白左側は伐採前の街路樹「ハルニレ」を、右側は再植樹後の「ヤマモミジ」を掲載)		
② 自治会を支えた役員以外の方々	60～61
③ しんえい西自治会役員機能組織図	62
④ しんえい西自治会防災活動組織図	63
⑤ しんえい西自治会防災用具現況表	64
⑥ しんえい西自治会各班戸数の状況	65
写真紹介(自治会内に所在している店舗・サポート住宅・自立支援事業所・歯科医院)		
⑦ 自治会集団資源回収の状況	66
⑧ 自治会居住地図・(1～3)	67～69
⑨ 輝く受賞(はるにれ会含む)	70
⑩ 自治会定期総会開催日一覧表	71
⑪ 街路樹 代替植樹 細部位置計画図	72
⑫ 町内会に関する新聞記事3件	73
⑬ 清田中央地区各町内会の発足状況等	74
● 編集後記	75

しんえい西自治会館全景



住 所 札幌市清田区真栄5条1丁目12-1
竣 工 平成6年10月

令和5年7月現在、竣工以来29年が経過しようとしていますが、大きな損傷もなく、会員の皆さんとともに、自治会のために利用されています。写真が古く色褪せていますが、時代の流れでしょう。

写真中央のカラマツは、こんなに可愛かったのです。現在のカラマツは、はるかに会館を見おろす程に成長しました。左前方の藤棚も棚の骨格が丸見えですが、今では藤の葉で覆いつくされています。

(会館に関する資料等は、22～23頁に活動のあゆみ「会館担当部」として掲載しております。)

30年のあゆみ発刊のご挨拶

しんえい西自治会 会長 花松 繁



しんえい西自治会の皆様には、日頃自治会の運営にご支援ご協力を頂き心から厚く御礼申し上げます。

さて、当自治会は平成5年(1993年)7月に112戸の会員をもって「しんえい西自治会」が設立され、本年(2023年)をもちまして設立30年の節目を迎えることとなりました。

ついては、この節目にあたり役員8名をもって令和2年6月27日に(仮称)「30周年記念行事実行委員会」の第1回会議を開催しました。

以来、令和3年10月まで7回の会議を開催し、熱心に検討審議しましたが、審議期間に自治会内に立ち起こった「街路樹撤去と再植樹問題」併せて世界を震撼させた「新型コロナウイルス感染症」関連で会議も一進一退を繰り返し、一応の方針として「祝賀会行事は実施しない。」が、「しんえい西自治会30年のあゆみ」を手作りで作成すると決定し令和3年10月23日の自治会役員会時における審議を最後に本委員会は自然休会の憂き目となりました。委員会閉会後の事務を「四役」が継承し、この度、実行委員会の方針を踏襲して手作りの「しんえい西自治会30年のあゆみ」を発刊する運びとなりました。

本誌は、「冊子による配布」と「IT関連による閲覧方式」の二通りからなり、将来に向けた画期的な「自治会30年のあゆみ」となっております。

今、ここにご希望の会員の皆様にお届けできることと、ちょっと遅れてスタートするインターネット閲覧も充実した内容で配信出来ますことを合わせてお喜び申し上げます。

30年のあゆみは、その名のとおり「30年の流れ、凝縮、歴代役員、各専門部等のほか種々の資料を整理・編集」させて頂きました。この「あゆみ」が今後、自治会の何かのひも解きに役立てられる機会がありましたらこの上ない喜びであります。

終わりに今後ともしんえい西自治会の活動運営にご理解とご協力を賜りますことを切にお願い申し上げます。また、本編集にあたり3年間にかけて資料の収集・発刊等に尽力頂きました自治会顧問・瀬戸山興平氏に感謝の意を表し、発刊のご挨拶といたします。

【花松 繁氏の自治会等役職歴】

- ・ 第4代 自治会長 (平成30年4月 ~ 現在)
- ・ 清田中央地区町内会連合会監事(平成30年4月 ~ 現在)
- ・ はるにれ会総務部長・副会長(平成26年4月 ~ 現在)

初代自治会長の紹介



初代自治会長 古部 貞春氏 (享年70歳)

(昭和27年5月3日～令和3年1月23日)

住 所 真栄4条1丁目15-1 (第4班)

自 治 会 歴	(会長在任期間:平成5年7月～平成16年4月)	(10年10月)
	(顧問就任期間:平成16年4月～令和3年1月)	(16年11月)
	(民生委員・児童委員:平成13年12月～平成28年12月)	(15年 0月)
	(感謝状受賞:長年の自治会長在任の功績)	(平成17年9月)
	(感謝状受賞:初代会長並びに民生・児童委員16年余の功績)	(平成30年9月)

フォレストパークしんえい団地(現在のしんえい西自治会地域の仮称)造成工事にも直接関わっておられた古部貞春氏(当時40歳)は、平成3年春の団地造成完了による販売開始を待つて現在地に住宅兼会社敷地を購入、翌4年春に転入され現在に至っておられます。古部氏は、何事においても積極果敢な性格で会社(建設関係)経営と自宅の環境もそこそこに自治会の組織を早急に確立したいという思いから、新築転入した有志(※1)を募って平成4年12月自治会設立発起人会を組織し、何と6ヵ月の間に11回も自治会設立準備委員会を開催する速度感を目を見張る次第です。この速度感をもって念願の「自治会設立臨時総会」を平成5年7月4日に開催し、全て執行部提案(※2)のとおり可決され、ここに晴れて『しんえい西自治会』が誕生するとともに、『初代自治会長』に推挙されました。

全く白紙の状態からスタートした当自治会は、設立準備委員会で多くの情報を収集した結果「会則・役員選任と職務・予算案・テレビ共同受信施設・自治会館建設」まで幅広く審議されたことは、古部会長の指導力と積極性の賜物と思われまます。

自治会長就任後は、特に会館建設の推進に注力し自治会員においては多額の建設資金拠金の合意を取り付ける一方、しんえい団地宅地造成会社(㈱日特建設(東京都))に対して会館敷地入手と会館建設の交渉に当たられ、最終的に同社の寄贈を取り付ける等他に見られない実績を残されました。また、新しい町内会の会員相互の融和親睦も大事であるという認識から定期総会終了後の懇親会(5月)・焼肉パーティ(9月)・新年交礼会(1月)を恒例行事として設定するとともに、子供たちの育成活動も多彩に計画実行され30年後の現在でも継承されています。

古部会長が在任間実行した多くの事業項目は数々ありますが、新しいしんえい西自治会を少しでも「住みやすくして行きたい。」という意気込みで、自治会の中心となって自治会を運営されました。以前、私(編集委員・瀬戸山顧問)も定期総会に参加の折り、古部会長の自治会に対する熱意と歯に衣を着せぬ単刀直入な物言いは明快で熱いものを感じたことがあります。

平成5年に41歳の若さで当自治会会長に就任された古部会長は民生・児童委員も請けられ、自治会上部組織である清田中央地区町内会連合会との連携のほかに重ねて会社経営と一人二役どころか三役・四役もこなしていた感があります。平成16年4月に会長を辞した後は顧問を引受けて頂き、少しだけ肩の荷が軽くなられたと思っていました。令和に入って体調が思わしくなく通院されているとお聞きしておりましたところ、令和3年1月23日ご逝去の報に接し驚愕した次第です。

しんえい西自治会のあらゆる面での基礎を築かれ、自治会の生き字引的存在の古部会長ご苦労様でした。そして有難うございました。私ども自治会員は古部会長のモットーでありました「より明るく、住みよい街づくり」を求めて進んで行く所存です。

自治会30年のあゆみ編集担当者

※1 → 本誌 8頁上から4行目～12行目までの7名を指します。

※2 → 本誌 7頁下から7行目～8頁上から1行目までを指します。

お祝いのことば

しんえい西自治会 顧問 坪坂 昇



この度、当しんえい西自治会が設立から30年の歴史を刻まれましたことは大変素晴らしく、自治会員の皆様とともに心から祝い合いたいと思います。

この30年を振り返ってみますと、当自治会は平成4年の宅地造成がそのスタートで、設立当初はテレビ共同アンテナの設置運営や自治会館の建設など多くの困難がありました。しかし会員皆様の理解と協力により、現在では大変住み易い豊かな自治会となっています。

当自治会の特記すべき第一は、この地域に居住している全世帯が自治会に加入していることです。現在、札幌市における町内会加入率は70%を切っており、全世帯加入は、地域活動の最も素晴らしい原点といえます。

更に地域に貢献し、他の町内会の模範となる取り組みに「ゴミステーションの改良設置」があります。この取り組みで、自治会内の衛生環境が素晴らしく向上し、市環境衛生協議会長及び札幌市長からの表彰も頂いております。これらの他にも、自治会員有志による児童の交通安全に向けて長年にわたる「交差点でのスクールガード」の取り組みも賞賛される素晴らしい地域活動です。そして、設立30年という記念すべき年に現在の役員の尽力により、街路樹がハルニレからヤマモミジに植え替えられ、一層素晴らしい環境となったことは嬉しい限りであります。

このような自治会の歴史は、会員皆様の理解協力は勿論のこと、歴代役員の方々の並々ならぬ努力があつてこそと心から敬意を表します。

また、この30周年を新たな出発点として、当自治会の理念である「親睦と福祉の向上・住みよい環境づくり」に向けて一層前進されますことと会員皆様のご健勝ご活躍を心からご祈念申し上げ、設立30周年のお祝いの言葉といたします。

【坪坂昇氏の自治会等役職歴】

- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| ・ 会計部長 (平成14年4月～平成18年4月) | ・ 福祉のまち推進委員 (平成22年4月～平成30年4月) |
| ・ 副会長・総務部長 (平成18年4月～平成22年4月) | ・ スクールガード (平成22年4月～平成29年3月) |
| ・ 第3代自治会長 (平成22年4月～平成30年4月) | ・ 自治会顧問 (平成30年4月～現在) |

歴代自治会長の紹介(2)



第2代自治会長 関口 栄吉氏 (享年80歳)
(昭和6年1月9日～平成23年1月25日)

住 所 真栄4条1丁目14-23(第3班)

自
治
会
歴

(会長在任期間:平成17年4月～平成22年4月) (5年0月)
(副会長、総務部長、会計部長、監事等:平成6年4月～平成17年4月) (11年11月)
(顧問在任期間:平成22年4月～平成23年1月) (0年11月)
(感謝状受賞:自治会長並びに役員長期在任の功績) (平成22年5月)

第2代自治会長・関口栄吉氏は、平成3年11月に現在地に居を構えられ身辺整理も落ち着かれた平成6年1月から同8年までの監事を経て、平成9年から同11年まで総務部長、平成12年から同16年まで副会長兼総務部長として複雑多岐にわたる自治会業務をこなすとともに古部会長を的確に補佐されました。

関口会長が監事に就任された平成6年は自治会が発足してまだ2年目ですので、自治会の中はざわつきといたしますかあちこちで住宅建設の槌音が響いており、人間関係も余り構築されていない時代であり居住者の皆さんの意見や気持ちを一つの方向にまとめることに難儀したことと思われまます。

自治会設立5年後に総務部長に就任され、育成部行事、ゴミ問題、2000年記念行事、会館音響設備の整備、自治会親睦行事等々に尽力され、特に当自治会地域はテレビ難視聴区域で時代の変化と共にテレビデジタル化に伴う受信方法の変更問題もあり、その解決も大変な課題でありました。このような諸問題を古部会長はじめ全役員とともに東奔西走し、「自治会のために・・・」を念頭に業務を推進されました。

このような状況の中、平成17年4月の定期総会において第2代自治会長に推挙されました。関口新会長にとって当面の懸案事項は6年後(2011年)に迫ったテレビデジタル化による視聴方法の道筋をつけることでした。平成17年5月29日のテレビ視聴方式に関する臨時総会を得て、「自治会共同受信事業を廃止」とし、「外部事業者による視聴方式」に変更することを決定しました。以来(平成18年)、当自治会地域のテレビ視聴は、「(株)Jcom社と個人契約」による視聴方式で現在に至っております。また、関口会長は、平成12年から同21年までの10年間にわたって「はるにれ会会長」(しんえい西自治会地域老人クラブ)に就任され、同会の運営に力を発揮されました。

関口会長の持ち前の明るさ、親しみやすさ、飾らない人柄は人を引き付け、自治会・はるにれ会の中にあってもその存在感は大きなものがありました。一方、趣味の尺八は師匠の資格をお持ちで老人クラブや地域の行事での演奏は数知れず、演奏の際も日常生活においても必ずバンダナをしておられたことから「バンダナ会長」または「バンダナの関口さん」と親しまれ、関口会長のトレードマークでもありました。

関口会長は自治会長のみならず副会長、総務部長等々多岐にわたる自治会役職を17年余、真心をもって尽くして頂きました。本当に有難うございました。

言葉足らずですが、第2代自治会長 関口栄吉氏をご紹介させて頂きました。

自治会30年のあゆみ編集担当者

しんえい西自治会の誕生は……

(資料からひも解く自治会の始まり)

しんえい西自治会 顧問 瀬戸山 興 平

1 自治会誕生の基点は……

ここに1通の文書があります。以下、冒頭の部分を紹介しますと次のとおりです。

平成5年6月20日

フォレストパーク しんえい
居 住 者 各 位

フォレストパークしんえい運営委員会
委員長 古 部 貞 春

フォレストパークしんえい自治会設立
臨 時 総 会 開 催 の ご 案 内

(※ 巻頭言省略させていただきました。)
尚、当日の懸案事項は出席者の過半数にて決議いたします。

記

1 日 時	平成5年7月4日	10時から12時まで
2 場 所	農事会館	
3 議 題	別添議案書のとおり	

以 上

恐らく、当自治会に残る「貴重な文書」と思われます。その第1頁にこの度の臨時総会に至るまでの経過報告が記載されていました。経過報告では、平成4年12月6日に第1回の「発起人会」が開催され、2回の発起人会後は、名称を「運営委員会」に変え臨時総会開催の1週間前の6月20日まで延べ9回の委員会を開催しています。12月6日から6ヶ月で合わせて11回の会議は相当真剣に速度感をもって審議・進行されたことが伺えます。

また、総会開催までの経過報告では次のように表記されています。(以下、原文のまま)

フォレストパークしんえいの基本理念と街づくりにおける施設について町内会をどうするかの話し合いがあり、発起人会が結成され(平成4年12月6日)、住みよい環境を作るためには、独自の組織(自治会設立)が必要不可欠であるという発起人会の話し合いの中で一歩進んだ形の(仮)しんえい西自治会発足に向け運営委員会が開かれ自治会会則案・組織・分譲状況における将来的問題点・団地管理費・テレビ共同受信施設費等管理内容の話し合いが行われました。

何とか総会を開き、現在居住している皆様と共に同じ目的意識をもって頂きたい今回の総会開催の運びとなりました。

とあり、議事録は見当たりませんが、自治会設立の「臨時総会議案書」の中で、

- | | |
|-------|--------------------|
| 第1号議案 | 自治会設立について |
| 第2号議案 | 自治会会則(案)について |
| 第3号議案 | 役員の選任及び役員の職務(案)の決定 |
| 第4号議案 | 予算(案)について |
| 第5号議案 | その他 |
- ・ 団地管理費について
 - ・ テレビ共同受信施設について

・ 自治会館設立について

等々が審議され、現在の「しんえい西自治会の基礎」となる事項が慎重に検討されたことが伺えます。

ちなみに、発足時における役員名簿は次のとおりとなっております。

会 長	古 部 貞 春 氏	豊平区真栄162-94	(故人)
副会長	六 角 重 夫 氏	豊平区真栄166-15	(故人)
//	若 月 省 三 氏	豊平区真栄164-127	
//	田 中 末 義 氏	豊平区真栄166-24	(転出)
会 計	神 元 一 重 氏	豊平区真栄161-33	
会計監査	佐 藤 文 太 郎 氏	豊平区真栄161-32	(故人)
//	(長澤文雄氏のお名前がありましたが、抹消線があり不確定でしたので未記載としました。)		
総務部長	山 口 正 利 氏	豊平区真栄162-68	(転出)
//	赤 石 和 敏 氏	豊平区真栄164-207	

以上の方々が、自治会当初の役員ですが、設立臨時総会で総務部以外で社会福祉部、青少年育成部、防災防犯部、環境衛生部、交通安全対策部、婦人部の各部長も選任されたと思われませんが、現在のところその方々のお名前を確認する資料がありません。(どなたかお持ちでしたらお知らせ下さい。)

この1枚の資料から、当しんえい西自治会の設立は、**平成5年7月4日** に誕生したものと特定されます。当時の行政区画の関係から新たに発足したわが「しんえい西自治会」の上部組織の町内会連合会は「清田地区町内会連合会」に加入しておりました。しかし、学校区制が異なることから平成12年4月に「清田中央地区町内会連合会」に移籍し現在に至っております。

2 清田中央地区町内会連合会の経緯は・・・

しんえい西自治会が加入しております上部組織である「清田中央地区町内会連合会」の経緯も簡略ですが紹介したいと存じます。

昭和41年11月に清田地区町内会連合会の単位町内会として「清田団地町内会」が設立されました。この当時は、清田中央地区が華々しく発展した時代であったので、7年後の昭和48年4月には「清田団地町内会」は11区1,360世帯の大きな町内会に成長しました。更に10年後の昭和58年4月「清田団地町内会」は東西南北の区割りから現在の「清田団地東町町内会」等10町内会が設立されました。

(10町内会についての詳細は、清田中央地区町内会連合会創立30周年記念誌「30年のあゆみ」(令和2年10月)に掲載されております。)

この10町内会設立に先立って、昭和53年7月に「清田団地西4丁目町内会」が、昭和57年3月に「清田南町町内会」が設立されております。その後、昭和59年「清田南若葉会」、昭和63年「清田ファミリータウン町内会」、平成元年「清田第五町内会」、平成10年「清田メイユール喜寿自治会」、平成20年「ヒルズガーデン清田町内会」がそれぞれ設立され、全19町内会・自治会が清田中央地区町内会連合会の傘下となって地域活動に協力しているところです。

長年「清田地区町内会連合会」に加入しておりました「清田団地町内会」は**平成2年3月「清田中央地区町内会連合会」**として発足しております。令和5年4月の同連合会は、19町内会・自治会で6,300世帯を擁し、運営の基本理念は、「安全・安心そして明るく住みよい心のかよい合う街」を目指して運営されております。

(この項目の資料は、清田中央地区町内会連合会創立30周年記念誌「30年のあゆみ」(令和2年10月)から引用させて頂きました。)

自治会専門部のあゆみ(全般)

平成5年7月4日(日)10:00～12:00 場所は農事会館においてフォレストパークしんえい西自治会(現在の「しんえい西自治会」の前身の名称です。)設立臨時総会が開催されました。

議事は、① 自治会設立について ② 自治会会則(案)について ③ 役員の選任及び役員の職務(案)の決定 ④ 予算(案)について ⑤ その他 の項目について審議がなされました。

当時の自治会各部の設立状況は次の「7部」が設けられました。(臨時総会の議案書から)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 総務部 | 5 環境衛生部 |
| 2 社会福祉部 | 6 交通安全対策部 |
| 3 青少年育成部 | 7 婦人部 |
| 4 防災防犯部 | |

※ 「各部長の選任は互選により会長が委嘱する。」とあります。

また、「共同受信施設担当」(平成9年度の役員名簿で確認されましたが、「部」という表記はありませんでした。)という役職が確認され、平成10年度役員名簿においては、「テレビ共同受信担当」と名称を変更。

- ・ 平成10年度に「婦人部」を「女性部」に変更しました。
- ・ 平成11年1月の役員名簿によると、初めて「会館・テレビ担当」を副会長が兼務ということが確認され、翌平成12年の議案書において「自治会館担当役員」の役職があります。
- ・ 平成13年度定期総会議案書において初めて「会計部長」という役職が確認されました。それまでは、副会長や総務部長が会計業務を兼務していました。ここで「全10部」制となりました。
- ・ 平成18年「テレビ担当役員」は、Jcomとの個人契約変更により、任務を終了し廃止されました。

以降令和4年4月まで「全9部」制を維持して運営してまいりましたが、同年5月の定期総会において情報化時代に入り少しずつIT関連の手法を自治会にも取り込み、将来に具える方向から「IT管理部」が設けられ再び「全10部」体制となりました。現在、以下のとおりの専門部です。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 総務部 | 6 防災防犯部 |
| 2 会計部 | 7 女性部 |
| 3 社会福祉部 | 8 交通安全対策部 |
| 4 青少年育成部 | 9 会館担当部 |
| 5 環境衛生部 | 10 IT管理部 |

※ 以下、「各部のあゆみ」を簡略ではありますが、次頁以降に掲載いたしました。

※ 各部の歴代部長・副部長就任状況については、本誌・資料編(53～59頁)をご参照下さい。

社会福祉部・環境衛生部・防犯防災部・交通安全対策部及び IT管理部 以外の各部の活動のあゆみは、「30年のあゆみ編集担当者」において報告させていただきました。

活動のあゆみ

総務部

1 はじめに

自治会の中に全部で10部の専門部がありますが、どの部も30年間の活動を一言や二言で表現することは不可能なことです。しかも限られたスペースで……。まして、総務部は、自治会の中核を担っており、複雑多岐、諸事全般と申しても過言ではありません。広範囲の総務業務ですので、項目を設けて「自治会30年の間にこのような事柄が少しずつ変化して現在に至っている。」という報告とさせていただきます。

なお、完全な資料がほとんどありません。頼りになるのは、「自治会定期総会議案書」だけです。それも全く存在しない年度もあります。このようなこともご承知の上で「総務部のあゆみ」をお読み頂ければ幸いです。

2 自治会会則について

自治会運営の基礎は、何と申しまして「しんえい西自治会会則」です。この会則は、平成5年7月4日開催の自治会設立臨時総会で承認され規定化されました。勿論、当時の役員におかれましては、全てにおいて「無からの生み出し」ですので、大変なご苦勞があったことと推察されます。この段階において完全を求めることはあり得ないことです。本当に感謝と敬意を表します。。

・ しんえい西自治会会則 平成5年7月4日施行 本則全19条 細則あり。を定めた後、時代が移ろい、人代わり、社会的背景も変化し、時代に沿った会則へと次のとおり改正されました。

- ① 平成10年1月18日 一部改正(役員の任期変更) ② 平成13年1月14日 一部改正(会計年度変更)
- ③ 平成17年5月29日 一部改正(細則の改正、テレビ負担金削除)
- ④ 平成23年4月24日 全部改正 ⑤ 平成25年4月28日 一部改正
- ⑥ 令和3年4月25日 一部改正(専門部の設置、役員定数表記変更、四役会議変更、弔慰金の範囲、役員謝金明記、資産管理明記、生活共益協力金の新設)

令和3年4月25日現在の会則は、「本則全34条、細則全4条及び細則別紙第1～第3」となっています。

3 総務部が主体性をもって推進した事項について(一部他部の事項含む。)記述します。

(1) 平成5年度……自治会設立臨時総会(5.7.4)

会則・役員選任・職務決定・予算案・団地管理費・TV共同受信施設・自治会館建設等について審議可決

(2) 平成5年度……定期総会(6.1.23)

自治会館建設について…第4町内会との共同建設不調通知受け、独自建設の方針を打ち出し建設に大きく踏み出す。

TV共同受信施設について…自治会とは分離して管理組合を設置し、岩倉団地と共同管理を働きかける。

(3) 平成6年度事業計画提案事項

- ・自治会主催によるレクリエーションの予定
- ・環境衛生部による春、秋の清掃の日を設定
- ・青少年育成部による夏休みラジオ体操の実施
- ・会館建設
- ・各種回覧物の配布
- ・連合町内会への協力と参加及び依頼業務への協力と参加

(4) 平成7年度事業報告

- ・パートナーシップ制度による排雪
- ・歩道花壇の植花
- ・川の清掃
- ・焼肉パーティ(165名)
- ・長寿会設立準備会(18名)
- ・婦人部日帰り旅行

(5) 平成9年度事業報告

- ・焼肉パーティ(186名)
- ・山辺川の環境状況報告
- ・はるにれ会会員による自治会地域清掃奉仕作業
- ・児童似顔絵コンクール実施
- ・自治会広報紙「はるにれ」発行(創刊号 9.3.1)
- ・役員の任期(1年→2年に)
- ・会員多数班の分班実施(15戸を基準として、6班を6A班と6B班に、以下8、9、10班も分班とする。)

(6) 平成12年度事業報告

- ・2000年記念植樹(風の子、青空の2公園に桜・八重紅枝垂桜5本)
- ・町内会連合会の移籍(清田地区町内会連合会→清田中央地区町内会連合会へ)
- ・催事用白色天幕1張り購入、1張り寄贈受け(寄贈者:古部貞春氏)
- ・除排雪(市民助成トラック制度に切り替え実施)

(7) 平成13年度事業報告

- ・最後の1月通常総会となる。(13.1.14)
- (8) 平成15年度事業計画提案
 - ・レオパレス(短期賃貸MS)建設について ・ 役員報酬について ・ 自治会館改修について
- (9) 平成15年度事業報告
 - ・年度切替実施(歴年度から会計年度へ移行)
 - ・4月通常総会となる。(14.4.25～)
 - ・自治会館増改築(会員アンケートの結果建築基準法違反となるため中止となる。)
- (10) 平成16年度事業報告,,
 - ・会館横駐車場に物置設置、除雪機購入
 - ・TVデジタル化に伴い各戸視聴環境改善等のため総額1,344万円を承認支出
- (11) 平成17年度事業報告
 - ・はるにれ会(長年の町内美化貢献により、札幌市民憲章推進会議議長から「きれいな街づくり実践団体」として受賞)
 - ・自治会顧問の委嘱(会長 古部貞春氏)
- (12) 平成19年度事業報告
 - ・会館TV、カラオケセット、音響を更新設置
- (13) 平成22年度事業報告
 - ・地縁認可取得提案承認
- (14) 平成22年度事業報告
 - ・焼肉パーティ(125名)の参加予定で計画したが、雨天のため中止 ・ 地縁による団体の認可(23.8.24)
 - ・東日本大震災(24.3.11)に寄金(10万円)
 - ・自治会顧問の委嘱(会長 関口栄吉氏)
- (15) 平成24年度事業報告
 - ・会館外壁改修工事(183万円) ・ 役員・班長役職標示札設置(39枚)
 - ・焼肉パーティ、新年交礼会、総会后懇親会に今年度から参加者胸名札を着用し話しやすい環境とした。
 - ・自治会独自の折り畳み式ゴミステーション試験導入 ・ 自治会居住地図各戸配布(24.7.1)
 - ・グループホーム新規建設に伴う住民説明会(24.7.22及び8.22)
- (16) 平成25年度事業報告
 - ・世帯カードの作成提出集計結果
 - 人口 793人 ※ 8世帯未提出(推定で計上)
 - 高齢者(65歳以上の者)……………18.7% 児 童(小学校の在学者)……………5.8%
 - 壮 年(学生を超え、高齢者未満)……………57.7% 幼 児(小学生未満者)……………3.4%
 - 学 生(中学、高校、大学、専門学校の在学者)……14.4%
 - ・要援護者数 28名 支援協力者数 119名
 - ・敬老祝い品について
(今年度から清田中央地区町連の祝い品廃止につき、自治会単独事業として祝い品贈呈)(85歳以上…13名)
- (17) 平成26年度事業報告
 - ・防災資材庫設置(あおぞら公園) ・ 会館玄関口の照明を自動点灯・消灯式に切替
- (18) 平成27年度事業報告
 - ・AED1基を会館に設置 ・ AED取扱い講習会(28.3.13)(14名)
- (19) 平成28年度事業報告
 - ・2017冬季アジア札幌大会応援協力(3名)(2月26日) ・ 自治会防災ヘルメットに自治会名を貼付
 - ・クリーンさっぽろ衛生モデル地区に指定され、その活動の功績により受賞(10月29日)
 - ・除排雪市民助成トラック制度本年度を以って終了(樺北流建設様が北広島市の排雪多忙のため辞退)
- (20) 平成29年度事業報告
 - ・フォレストパーク壱番館、弐番館と排雪調整会議(10月14日)(間口負担金引上げ)
 - ・クリーンさっぽろ実践模範地区として札幌市長から受賞(11月17日) ・ 役員・班長の障害保険加入
 - ・除排雪今年度からパートナーシップ制度に変更 ・ 会館ホール等LED化(32万円)

活動のあゆみ

会 計 部

平成5年の自治会発足と同時に財務部門担当として「会計部」は発足しました。初代部長は神元一重氏(第1班)が指名されました。以来、3人の方が2任期4年、9人の方が1任期2年、1人の方が1年、の会計業務の職を真剣かつ正確に果たして頂き、今日に至っております。(「自治会歴代役員状況」(本誌53～59頁)をご参照下さい。)

「自治会発足当初は、組織の立ち上げに始まり、会則の確立に基づく自治会運営費の集金や会館建設に伴う諸物品の購入等多忙な始まりでした。」(神元氏談)

以下、30年間の会計事項について報告させていただきますが、平成6、11、13年度については資料が全く存在しませんので、都合27年間の報告とさせていただきます。なお、当自治会会計運営上、「一般会計」のほかに、「特別会計」、「TV共同受信特別会計」、「会館建設特別会計」等が時期に応じて設置・廃止されましたが、現在は「一般会計」・「特別会計」のみです。

1 収入状況(一般会計)

自治会の総収入額(各年度繰越金除く)は、8,351万円でその内訳は概ね次のとおりです。

(単位は万円)

自治会費	4,504	53.9%	特別会計から	647	7.7%
排雪負担費	1,575	18.8%	TV受信会費	645	7.7%
会館使用料	123	1.4%	その他の収入	857	10.2%

【特記事項】

- 1 排雪負担金未集金年度…平成9年度、令和2年度
- 2 自治会費上期減免…令和3、4年度(コロナ禍によるもの)
- 3 TV受信会費は、平成17年度～21年度の5年間のみです。

2 支出状況(一般会計)

自治会の総支出額は、7,922万円でその内訳は概ね次のとおりです。

(単位は万円)

親睦事業費	934	11.7%	負担金	855	10.7%
各部活動費	478	6.0%	TV維持費	1,127	14.2%
事業費	803	10.1%	予備費	127	1.6%
排雪費	1,955	24.6%	会館補修等	496	6.2%
会館維持費	1,125	14.2%	雑費	22	0.2%

【特記事項】

- 1 収入と支出は特別会計との絡みで一致しません。
- 2 各年度決算報告書では、排雪費は事業費に含まれていますが、本報告では排雪費を別途集計しました。
- 3 TV維持管理費業務は、平成9年度から平成21年度の13年間です。
- 4 排雪費の高騰…平成26～28年度間は平均82,5万円でしたが、令和2～4年度間は平均114,4万円となり約13%の高騰となっています。(排雪路の軒数は変化なし)

3 特別会計(基金)について

(1) 現 状

特別会計(基金・会館建設建替え準備金)は、当自治会特有の基金で、その歴史は自治会発足の平成5年に遡るものです。1,617万円で始まった本基金は30年の時を経た令和4年度において1,888万円の基金となり、将来の会館維持あるいは不慮の会館災害(地震・火災等)に備える資金として蓄えられているのです。

(2) 多額基金の解決について

本件について、近年の各定期総会において会員から「基金の処方」(会員への還付を含むあらゆる方策)について度々意見や質問が発出されて来たところでしたが、特に令和2年～3年度にかけてはその声が徐々に多くなり執行部として何とか解決したいとの思いで、令和3年12月4日付で「特別会計2千万円審議委員」を広く会員から募り問題解決の道筋をつけ、向後1～2年間位で結論に導き、その結論を踏まえて会員に諮り概ね「3年位の計画で最終結論」を得たいとの予定で進めました。が、少なくとも10名以上の審議委員を予定しておりましたが、僅か8名の申し出に留まり会員皆さんの『この問題解決の機は熟していない。』と判断いたし、今回は見送りいたしました。

なお、この件に関しまして経緯・内容等について、令和4年3月5日付・自治会長名をもって全会員に審議中止のお知らせを行っております。

報告 自治会30年のあゆみ編集担当者

活動のあゆみ

社会福祉部

平成5年の自治会設立時に運営の核となる7部が設けられ、社会福祉部は設立以来自治会の方針である「安心、安全、明るく皆が助け合って暮らすことが出来るやさしい街づくり」を目指して歴代の役員の方々の協力を得て活動して参りました。

1 活動の概要

社会福祉部は『社会福祉向上のための奉仕活動、介護活動、介護医療、地域の見守り、地区社会福祉協議会各部会、研修会への参加』等が活動概要です。また、社会福祉部長は清田区社会福祉協議会の「福祉のまち推進協力員」を兼務し、上記活動概要に加えて同協議会との連携及び協力を行っています。

社会福祉の活動は広範囲で一言で説明するのも難しいところがありますが、過去の取り組みでは6年間に亘って札幌南青洲病院の医師を招いて、健康講座を開催し毎回15～20数名の参加がありました。このことは自身の健康と平成12年に発足した介護保険制度に対する関心の高さの表れかと思われま

す。また、敬老の日のお祝い行事においては、清田中央地区町内会連合会からお祝いの品が自治会に届き85歳以上の対象の方に社会福祉部がお届けしていました。が、平成24年度で配布が取りやめになりました。その後、平成25年度からは自治会独自のお祝いの行事となりました。お祝いは、お弁当、紅白饅頭、お茶に会長からのお祝いの言葉を添えて贈呈してまいりましたが、新型コロナ発生後からはお弁当をお菓子に変えて会長と共に一人一人をお訪ねし元気なご様子を拝見させて頂いております。ちなみに、平成25年度は13名の方々でしたが、令和4年度は24名の方々にお届けして大変喜ばれております。

2 福祉推進委員会の設立

本会は「しんえい西自治会に居住する高齢者等について、自治会内住民の参画のもと福祉活動を行い、より良い福祉のまちづくりに資する。」ことを目的に平成29年3月15日に設立されました。

自治会長が推進委員長となり、自治会各部の副部長以上の全員を委員委嘱し、関係行政の参加を得て3回の委員会開催を行いました。が、新型コロナ発生に伴い会館に多数の役員が会するのは感染拡大につながるとしてその後は開かれていません。

社会福祉向上のための奉仕活動、高齢世帯、独居世帯の見守り、その他の活動のすべてが「安心安全……街づくり」に繋がっていくものであり、新型コロナ終息後は本推進委員会の再開が期待されます。

3 見守りの現状

見守り活動については比較的若い町内会ということもあるのですが、対象となられる方は令和4年度は13名の方です。見守りと言いましてもわざわざチャイムを鳴らすのではなく、夜になったら照明が点いているか？洗濯物は取り込まれているか？冬場の玄関前の除雪は…？等々被見守り者のお宅の前を通った時ちょっと気をつけて見る。さりげないやさしさで気にかけてあげる。そんなちょっとした事でよいのです。福祉推進委員だけでは気づかないことが沢山ありますので、自治会の皆様のお力をお借りして「この町に住んでよかった。」と皆が思えるような自治会にしていけたらと思います。

4 自治会の高齢化の状況

日本人の約2割が後期高齢者になり、5人に1人が認知症になると言われている2025年問題が3年後に迫っています。

いわゆる団塊の世代の全てが75歳以上になり、様々な問題が発生するということです。自治会発足当時40歳代の方々皆が該当されることとなります。当自治会の65歳以上の方々には228名(令和2年調査)で、札幌市の調査では清田区は市内で4番目の高齢化率です。参考までに資料(清田区第2包括支援センター提供)を添付さ

せて頂きました。資料によりますと、自治会の高齢化率は平成10年(7.4%)から平成23年の約13年間で2倍(14.5%)となっており、その後の10年間で32.0%となっており、凄まじい勢いで高齢化が押し寄せていることが確認できます。参考までに、当自治会の高齢化率推移は次表のとおりです。

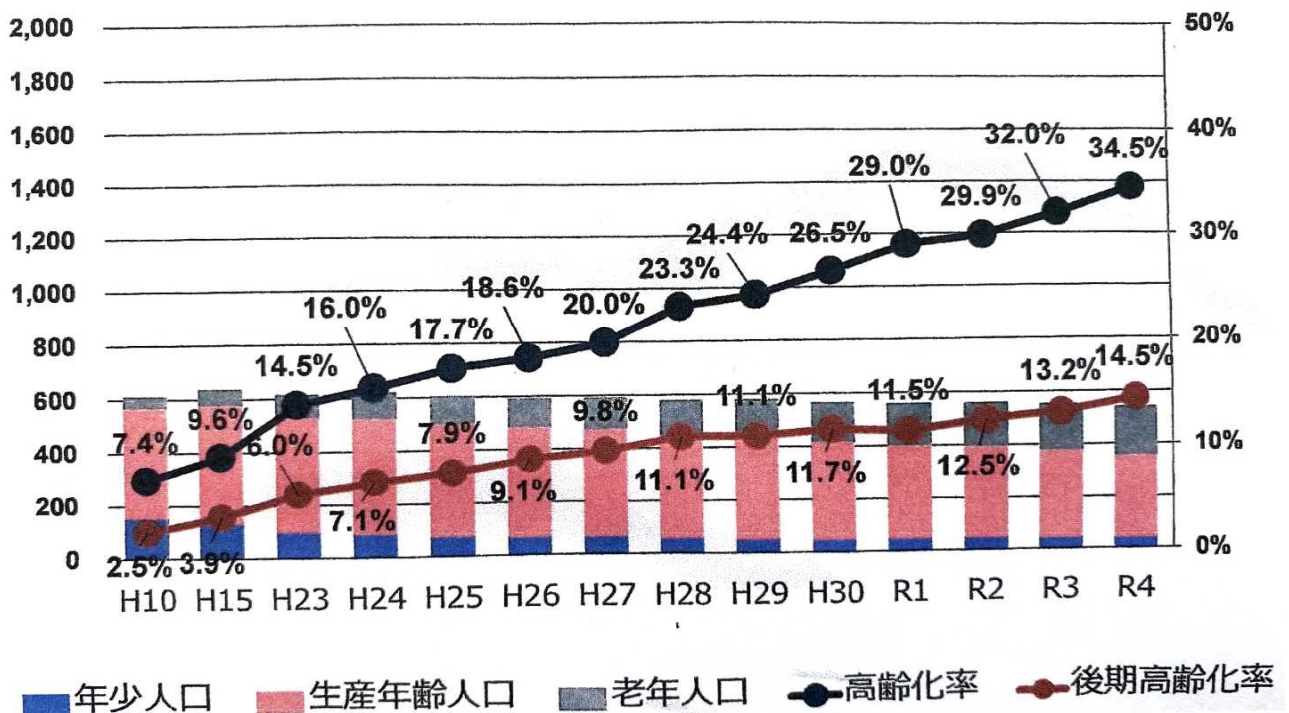
しんえい西自治会高齢化率の推移

年度	総人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	後期高齢人口	高齢化率	後期高齢化率
H10	611	151	415	45	15	7.4%	2.5%
H15	637	128	448	61	25	9.6%	3.9%
H20	644	119	446	79	34	12.3%	5.3%
H23	615	95	431	89	37	14.5%	6.0%
H24	620	84	437	99	44	16.0%	7.1%
H25	604	72	425	107	48	17.7%	7.9%
H26	591	64	417	110	54	18.6%	9.1%
H27	590	64	408	118	58	20.0%	9.8%
H28	579	57	387	135	64	23.3%	11.1%
H29	579	49	389	141	64	24.4%	11.1%
H30	565	46	369	150	66	26.5%	11.7%
R1	558	44	352	162	64	29.0%	11.5%
R2	559	46	346	167	70	29.9%	12.5%
R3	553	40	336	177	73	32.0%	13.2%
R4	539	37	316	186	78	34.5%	14.5%

資料元:「札幌市住民基本台帳人口」から

上記表をグラフ化したものが、次のグラフです。

しんえい西自治会



活動のあゆみ

青少年育成部

『自治会の小学生以下の児童の健全育成を目的に設置された青少年育成部』の主な活動事業は、

- ① 朝のラジオ体操
- ② 児童・幼児絵画展
- ③ 七夕まつり・ローソクだーせ・子供花火大会 です。

目的は、長い夏休み間の生活リズム維持や子供たちの交流の場を作り町内の子供たちが仲良く健全に育つことを願って主に夏場に集中して計画実行されて来ました。以下、上記3項目についてあゆみを報告いたします。

① 朝のラジオ体操

平成5年度においては自治会発足でばたばたしていた(推測です。)のでしょうか事業計画にも事業報告にも記事はありませんでしたが、平成6年度から夏休みラジオ体操を計画し本格的に活動が開始されました。

平成9年度の報告では、7月23日から8月12日までのラジオ体操参加者数(延べ)は子供1,048名、(以下、大人除く)の報告があり、以来延べ1,000人台の参加が続きましたが、平成20年度は724名、平成24年度516名、平成30年度387名、令和2年度においては333名と減少し活動開始時の6割超減となっております。

② 児童・幼児絵画展

児童・幼児絵画展が始まったのは、平成9年度の事業報告で確認されました。応募数は19点で自治会館での展示でしたが、翌10年度から東急ストア真栄店(現在の東光ストア真栄店)2Fフロアをお借りして、毎年5～6日間の展示を実施し、自治会会員のみならず一般のお客様にも広く鑑賞して頂きました。この東急ストアでの展示会は経営する会社の変更により平成22年度をもって終了しました。以来、再び自治会館での展示となりましたが、鑑賞に訪れる会員も少なく平成26年度から自治会焼肉パーティ会場に特設ボードを設け展示し、多くの会員に鑑賞して頂き、焼肉パーティ時入賞者の表彰も多くの方の前で行っております。

③ 七夕まつり・ローソクだーせ・子供花火大会

この行事は、平成10年度から始まりました。8月7日(七夕)の2日位前から会館内で育成部部員や女性役員の応援を得て指導しながら、子供たちの思い思いの短冊を作って飾りつける行事です。

飾りつけは、あおぞら公園、風の子公園の2カ所で実施していましたが、児童数の減少により平成29年度から風の子公園1カ所となりました。

ローソクだーせの行事も始まりは、七夕まつりと同じです。子供たちが10名前後のグループとなり、協賛家庭を巡り、昔から伝わる歌を歌っておやつを頂く行事ですが、10年度は参加児童・幼児数は63名、協賛家庭は70戸の報告があります。23年後の令和2年は児童・幼児数27名、協賛家庭は37戸でした。

子供花火大会は、「ローソクだーせ」に引き続いて実施される唯一の夜の行事です。始まりは同じく平成10年度からです。場所は風の子公園で、児童・幼児に個人花火を楽しんだ後、日頃各家庭では出来ない少し迫力のある花火を楽しんで頂く趣向で実施しております。

このように歴史ある育成部行事を受け継ぎ綿々と実行してまいりましたが、令和3年及び4年度は新型コロナウイルス感染防止対策の観点から全ての育成部行事を中止しております。

また、令和2年11月に育成部活動の根拠となる幼児・児童・生徒数を掌握させて頂きました。令和4年8月現在の状況は、幼児:18名、小学生:23名、中学生:17名、合計58名となっております。

活動のあゆみ

環境衛生部

自治会設立以来、自治会内の環境衛生について歴代部長は苦勞に苦勞を重ねて来られたことと存じます。特に日々排出される生活ゴミについては、札幌市の規制や自治会の要望等もあり一筋縄では対処しかねる部分も少なくない事です。自治会発足時のゴミサークルは、高さ64cm、円周約4～5mの軟質プラ製のネットで自立性に乏しく蓋もなく、ゴミ出しの都度網を掛けなければ小動物、特にカラス対策は大変なことでした。全くもって人間とカラスとの知恵比べ、根比べでした。そのうち、「〇〇班のBさんは乱暴なネット掛けだ。」、「〇〇班のDさんは当番をやっていないようだ。」等々自治会内が疑心暗鬼となり、ゴミ処理をめぐって時々人間関係の不信になることも……。このような期間が平成6,7年頃から10年以上続いて来ました。「この状況を何とかしたい……」と思った会員がいました。その人は瀬戸山興平氏(4B班)(当時、副会長・総務部長)でした。平成24年9月、ゴミ当番の都度黄色のネットを自宅で何度も洗っているとき、「蓋つき折り畳み自立型ゴミサークル」の発想がひらめき、大澤環境衛生部長(当時)が入院中のため、直接坪坂自治会長(当時)に具申したところ、即決で「試作開始」の承認を頂きました。物づくりには単独もよいが相棒がいた方が更なるアイデアも出ることから協力者として川村新一氏(2班)(現在の環境衛生副部長)を指名しました。直ちに、資材調達、組立て等に入り、作業開始から3日後の9月17日には初号機としてステーションNo,3に設置しました。当時、このようなゴミサークルはどこにもなく画期的でステーションNo,3利用者から大好評を頂きました。(※ 自立型ゴミサークルの写真を52頁に掲載いたしました。)

以来、自治会定期総会に提案、各年度予算も承認され、およそ4年間で8基の新設・改善を完了し、更にその後新設されたゴミサークルも同型のものが設置され、快適なゴミ環境を提供できているところです。その陰には設置後の保守整備管理があつてこそそのゴミサークルです。その作業を主として川村環境衛生副部長に担当して頂いて現在に至っております。

次に令和2年度定期総会において提案された「町内街路樹撤去と関連する再植樹」についてですが、ご承知のとおり、当自治会が設立されたときには既に植樹されていた街路樹「ハルニレ」は30年経過し、はるかな巨木となりました。樹木の繁茂期は街灯の投光率は激減し防犯上の問題も懸念されていました。また、ハルニレの沿線に住む会員は高齢となり日々の環境美化に手こずっていたことは事実でした。このような中、提案された街路樹撤去は地球温暖化に逆行する等々の意見もあり難航を極めましたが、2年かかりでようやく『撤去』の結論に至りました。令和4年8月に全ての街路樹が撤去され、新たに同年11月に当初より本数を減らして、「ヤマモミジ」が植樹されました。住宅街の潤いとして、今後、皆さんと共に生きていくことと存じます。大事に可愛がっていきましょう。

その他、「春の自治会一斉清掃」や5月の「花植え作業」等には例年多くの会員のご協力を頂きお陰様で自治会地域が快適で住みよい環境となっていることと相まって、地域の老人クラブ「はるにれ会」の皆様には2公園の草刈りや町内のゴミ・空き缶拾い等奉仕活動を頂いております。特に町内のゴミ空き缶拾いは、自治会設立とほぼ時期を同じくして活動を続けられており、改めて敬意を表しますと共に感謝申し上げます。

環境衛生部は、今後も会員の生活環境の良好かつ快適な維持に努めてまいります。会員の皆様におかれましては引き続きご協力ご支援下さいますようお願い申し上げます、30年の環境衛生部のあゆみとさせていただきます。

【環境衛生部関係受賞状況】

平成28年10月

クリーンさっぽろ衛生活動関係

クリーンさっぽろ衛生活動会長表彰

平成29年10月

環境衛生実践模範地区として

札幌市長表彰

報告 第13代 環境衛生部長 川口清人

活動のあゆみ

防犯防災部

…… 胆振東部地震後の防災 ……

自治会設立時から続く防犯防災部ですが、先の胆振東部地震は自治会の防災対策・活動にとって画期をなすものでした。しんえい西自治会が設立30年を迎えるに当たって胆振東部地震後の防災対策等について記します。

平成30年9月6日午前3時8分M6.7、震度5強、震源地は厚真町。経験にないような大きな揺れ、そして電力喪失ブラックアウト。地震2日目の夜、当時の役員3名で街灯が無い闇の中のパトロールの最中、突然周囲が明るくなり街灯が点灯、電気の回復を確認してホッと胸を撫でおろしたのを記憶しています。この後もしんえい西自治会では目に見えるような被害はなかったものの、この地震を機に災害対策も見直され、停電対策の発電機、照明器具などを購入、班長さんを対象にした対策機器の取扱説明会等を実施しました。社会情勢・会員の意識の変化などを考慮し実情にあったものにすべく現在も見直しのプロセスは継続中です。

清田区の名を全国に知らしめた宅地液状化や急傾斜地・河川の土砂災害と浸水への懸念。これまでの30年間は幸いにも被害を受けるに至りませんでした。この先も被害とは無縁であることを心から願いますが懸念や課題がゼロになることはないでしょう。地震後、ハザードマップ等の防災情報も、デジタル化の進展と相俟って、より詳細なものが提供されるようになりました。自宅敷地範囲でのリスクをネット上でつぶさに確認することが出来るようになっており、行政の情報提供にも大きな変化が見られます。

このほか高齢者等の災害弱者対策や避難所の設置・運営の課題などについては自治会内でも札幌市としても充分な解決策は示されておりませんが、そんなに遠くない時期までに解決していかなければならない課題であり自治会全体で推進すべきものと考えられます。

最後に液状化で大きな被害を受け、復興が完了した里塚中央町内会長 盛田久夫氏のお話が「広報さっぽろ」(2021年9月号)に”被災からの復興”のテーマで寄せられていました森田会長の談話は私たちの今後の活動について示唆に富む内容であり貴重な参考としてここに転載引用させて頂きました。

【盛田会長談話】(要旨)

「復興が進んでも課題は残る。」

地域の防災対策としては結論が出ていない問題もあります。例えば、防災の組織図は作っていても災害時に活用されず意味がなかった。一人暮らしの高齢者や体の不自由な方の見守りは、高齢化が進むと今のやり方を続けるだけでは対応できない。被害の大きかった地域とそうではない地域で、災害に対する意識に差も出てきている。町内会としても一つ一つ改善していく必要があります。

「声を掛け合える関係が大切」

災害を通じて沢山の方に助けられました。近所付き合いも昔とは変わって来ていますが、何かあったときはさまざまな人の力を借りるものです。「遠い親戚より近くの他人」という言葉がありますが、隣近所とは困った時だけでなく、普段から声を掛け合えるような関係づくりをして欲しいですね。

報告 第14代 防犯防災部長 田中裕二

活動のあゆみ

交通安全対策部

交通安全対策部は、自治会設立とともに設置されました。当時は、今ほどに交通量は多くはなかったと思われるが、自治会内の交通安全対策と冬期の除雪対策の2点が主な業務となります。

1 交通安全対策

平成5年に自治会が創設以降、清田地区町連(当時は清田地区でした。)傘下で春夏秋冬の交通安全街頭啓発パレードに2～8名が参加していました。平成12年からは緑小学校のスクールゾーンの「交通安全パレード」(清田区役所、警察署、緑・南小学校、各町内会参加)に参加し、交通事故防止啓発に協力しております。

この春夏秋冬の交通安全街頭啓発及び緑・南両小学校の交通安全パレードの2行事は30年以上にわたる歴史的な交通事故防止のイベントで自治会も当初より積極的に参加しており、現在も続けております。

一方、丸子憲治氏(札幌市交通安全指導員)(第7班・故人)におかれましては、平成16年～18年にわたって毎朝自治会の子供たちの通学時間帯の交通事故防止指導と見守りをして頂きました。また、平成17年から清田中央地区町連主導の「防犯パトロール」の一環として「スクールガード」の実践が推奨され、「しんえい西自治会の子供たちを交通事故から守る」ため、関口栄吉氏(第2班・故人)、瀬戸山興平氏(第4B班)、奥山新一氏(第5班)の3人が交代で真栄4条の交差点(信号機あり)に立哨以来、関係者は変わるものの現在まで途切れることなく、子供たちの朝の登校を見守り続けております。

(平成17年以降の立哨状況:年間213日×18年間=約3,800回)

(スクールガード全勤務者の方々のお名前は、本誌・資料②(60～61頁)をご参照下さい。)

その他、平成20年から自治会内の「真栄4条交差点～はるにれ橋」間の道路両脇に交通安全旗6本を、令和4年から第7班前通りに3本を設置し年間を通して自治会及び通行する方々の交通安全の意識啓蒙に努力しております。

2 排雪作業の経緯

自治会設立後の除雪方法は、平成7年2月～10年2月の間は「パートナーシップ制」を実施、平成11年2月～29年2月の間は「市民助成トラック制度」を実施。平成11年以来19年間にわたって当自治会の排雪を担当して頂いた(株)北流システム建設様(北広島市)が地元北広島市の排雪作業が多忙となり、平成29年2月の作業を以って辞退されました。翌平成30年2月の排雪作業から再び「パートナーシップ制」による排雪作業を実施し現在に至っております。自治会内の排雪距離は延べ2,24kmで平成30年2月実施のパートナーシップ制による支払い額は109万円でした。令和4年度の排雪費は115万円ですので5年間で5,5%の値上がりとなっております。自治会創設以来、30年間毎年2月の初旬に2～3日間の排雪作業を実施してまいりましたが、会員皆様のご協力を頂きまして、1件の事故もなく経過してまいりました。



あおぞら公園の事故
防止看板



令和4・5年度立哨担当の左から佐藤照子(11班)、波多野徹
(9B班)、原田洋美(4A班)、久保雅之(9A班)の皆さん



毎年2月実施している町内排雪作業
(写真は平成20年2月)

報告 第12代 交通安全対策部長 久保雅之

活動のあゆみ

女性部

平成5年7月に自治会が発足した際は、「婦人部」の名称でした。初代部長さんは坪田京子氏(現・第4B班)(転出)で、この名称は平成9年まで続きました。婦人部発足から1年半後の平成7年12月に「婦人部日帰り温泉旅行」が実行されたことが過去の事業報告から確認されましたが、どこの温泉に、何人で行ったのかは確認出来ませんでした。今ここでその実績を求めているではありません。婦人部が組織されて間もなく、しかも新規転入者が続いている自治会の中であって婦人部としての「意思の疎通、親睦」を図る目的で実行されたのではないかと想像されます。

平成10年度の定期総会議案書で「婦人部」は「女性部」に名称変更されています。平成10年以降の確認できる各年の議案書から読み取れることは、女性部として、また女性のための生活に役に立つ講座が毎年2回程開催され、しかも多くの会員が参加していることが確認されました。特に平成12年にはパッチワーク、そば打ち、パソコン教室等年5回の講座は特筆ものです。また、平成15年から始まった「1円玉募金活動」(この運動は令和3年度に終了)、町連主催の夏祭り、札幌夏祭り盆踊り参加(平成16年のみ)等常に前向きにしかも長きにわたって女性部活動をしてまいりましたが、平成16年から年間2講座に、平成22年の1講座を最後に自治会内における研修講座は開催していません。主な活動は町連女性部への協力・支援と緑小学校スクールゾーン実行委員会協力及び自治会内にあつては焼肉パーティ等懇親会関係の支援等に留まっています。

経費や時間をかけて会館に集合しなくても、スマートフォン1台で瞬時にしかも詳細に必要とする情報が確実に入手出来る時代になったことが研修会が停滞している大きな要因と考えられます。研修会を開催しても2、3人の参加では講師に申し訳なく、主催者側としては考え込んでしまう次第です。

当分の間、このような状態が続くものと予測されますが、自治会会員皆様のご希望があればいつでも女性部研修会活動を再開する気持ちでおります。



毎年の焼肉パーティの食材配分で活躍する女性部の皆さん



キムチづくりも楽しかった



女性部の皆さん若い❤️❤️(平成12年頃)



キムチが美味しそうに出来ました

活動のあゆみ

会館担当部

① 会館建設の経緯

平成5年度定期総会議案書(平成6年1月23日)によると、第4町内会(清田地区町連?)と共同で会館建設の交渉を図っていたが、平成5年10月25日同町内会長から交渉不調の申し入れがあり、自前の会館建設に向けて日特建設と交渉の結果、会館用地として土地を札幌市に寄付することで合意し、12月14日日特建設より寄付手続きを完了した。(確認者…古部自治会長、東峰副会長)

なお、札幌市に補助金申請の書類(設計図、見積書、資金状況等)が必要なため、会館建設委員会を設立し、会館建設を会館建設準備委員会で検討し、最終結論は役員会で決定したい。とあり、同議案書によると、次のとおり札幌市に提案申請されています。

- 1 会館建設予定地 宅地番号196 246.14㎡(74.45坪)
- 2 建ぺい率 40% 98.45㎡ (29.78坪)
- 3 容積率 60% 147.68%(44.67坪).
- 4 予算額 特別会計より2千万円(150戸×15万円ー250万円)
市 補助金450万円(坪当たり約10万円) 計 2.450万円
- 5 総建坪約45万円で予算2.450万円(設備含む)以内で収め、会員には新たな負担は求めないこととする。
- 6 会館建設準備委員長 総務部長 山口正利氏(4B班)(転出)

② 会館建設竣工は…

平成6年10月(細部資料が存在しないため、竣工日については特定出来ません。)

③ 会館建設後の主な維持状況

- 平成17年 自治会館塗装、物置設置(221万円)
- 平成19年 カラオケセット更新
- 平成22年 会館改修役員審議(台所を1Fに降ろし、備品収納庫の設置)却下
- 平成23年 会館所有権不登記のため、地縁団体認可と並行して所有権登記完了
- 平成24年 外壁・屋根塗装、内部物置・靴箱棚造作等(183万円)
- 平成29年 会館照明具のLED化(32万円)

③ 会館の使用状況

使用記録が残る平成12年度(平成13年度なし)～令和3年度の21年間の使用回数は、合計3,785回、無料2,739回(72.3%)、有料1,046回(27.6%)となっています。平成15年頃から平成23年頃までの9年間は子供の学習塾の会場として有料使用も752回に及んでいました。学習塾も子供の減少に伴い閉鎖となり、その後は民間の文化活動等で利用されましたが、令和2年以降は新型コロナ感染症発生に伴い有料使用回数は「なし」でした。一方、無料回数は、自治会役員・班長会議(フォレスト壺番館・式番館含む)、会員のクラブ活動(自治会長承認による。)、はるにれ会(地域老人クラブ)等の利用が主となっています。

今後は、有料使用の回復はほとんど期待できませんが、自治会及び自治会会員の健全な活動の場として有効活用されることが会館の真の目的に叶っているものと思われれます。

自治会館の使用状況

(単位:回)

年度	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
無料	100		100	77	74	24	137	129
有料	20	(資料なし)	44	69	70	47	78	92
計	120		144	146	144	71	215	221

年度	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
無料	151	134	139	156	177	168	163	192
有料	107	94	94	85	13	20	27	31
計	258	228	233	241	190	188	190	223

年度	平成28年	平成29年	平成30年	平31・令1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
無料	183	162	168	162	78	65	77	
有料	27	24	50	54	0	0	0	
計	210	186	218	216	78	65	77	

※ 平成11年以前の使用記録は存在しません。

※ 21年間合計 3,861回(無料使用 2,815回、有料使用 1,046回)

※ 資料元 各年度議案書



会館竣工記念テレカから(平成6年(1994)10月)

自治会館正面玄関(令和5年5月)



2023/05/20



会館ホール内部(令和5年5月)

報告 自治会30年のあゆみ編集担当者

活動のあゆみ

IT 管理部

自治会運営の基盤は、組織や会員との意思疎通がもっとも大事な要素と思われます。その意思疎通の基本になるのが「広報」です。しんえい西自治会が設立以来、この「広報」を担っているのは自分たちの仕事のほかに自治会業務をボランティア活動として協力を頂いている会員の皆さんです。

近年、急速な速度で高齢化が進み自治会内会員間においても例外ではなく看過することは出来ません。将来に向けて少しでも会員の負担を軽減する準備をしたい。という発想から令和3年4月25日「IT管理部」は発足しました。

● IT管理部の目的

- 1 従来の紙による「回覧板」を逐次緊急時各戸に手配りする行動を電子化し負担を軽減する。
- 2 情報伝達のスピーディー化を図る。

● IT管理部の現状

- 1 会員に対するアンケート調査(2回実施)から自治会連絡や広報の電子化が十分に有効であることが確認されました。
- 2 ホームページのデザイン、機能は既に80%程出来上がっており、近く公開できる状態です。
(ご挨拶、地域と自治会の歴史、各部から各種資料や書庫、お知らせ)
- 3 スマートフォンへのメール連絡網の整備を準備中
(緊急時は大変に有効。回覧や配布がかなり省力化される。)

● IT管理部の今後

- 1 2023年度中に「試験運用」を開始します。
- 2 試験運用後、2024年度を目標に「本格的運用」を予定します。
- 3 電子通信・配信を望まない会員(家庭)への配慮をします。

報 告 初 代 IT管理部長 東 厚 志

「しんえい西団地のロケーションと防災について」の寄稿御礼と著者・川村信人氏のご紹介

第4代 花松自治会長から重厚なものでもなくてもよいので、「自治会の30年のあゆみ」を後世に残しておきたいという要望を受け、令和2年6月27日(仮称)・自治会30周年検討委員会(8名)が開催されました。著者・川村信人氏は当時会計部長の職にあり、検討委員会のメンバーに就任して頂きました。

以来、令和3年10月まで数次の会議を得て「手作りの30年のあゆみを作成する。」という方向性を決めました。が、当時世界を震撼させたコロナ禍の影響もあり、遅々として停滞気味の会議の連続でした。しかし、川村氏におかれましては、2か月後の第3回会議において「この土地で安心して暮らすためのテーマで構わなければ寄稿してもよいですよ。」という積極的な言葉を頂き感激したことを記憶しております。令和3年1月末頃、当自治会内は街路樹撤去と再植樹の件で「30年のあゆみ」の思いは稀薄気味でしたが、そのような中、A4判11枚に及ぶ標題の原稿を頂戴いたしました。拝見いたしましたところ、カラー写真を多用したしんえい西自治会地域のための地勢学的寄稿は素人の方でも解りやすく書き下ろしてあり興味ある内容でした。相当の時間をかけて研究調査をされたことと存じます。

このような貴重な論文をご寄稿下さり編集担当者として厚く御礼申し上げます。本当に有難うございました。

つきましては、編集担当者としましては貴重な寄稿の単なる掲載紹介だけでなく、著者の紹介もした方が、より寄稿の内容が理解、親しみ等をもてるのではないかと存じ、敢えて寄稿者・川村信人氏に無理強いをして紹介資料の提出を頂き紹介させて頂きました。(実は、川村信人氏はこのようなことは嫌いな人柄で、多大な無理をして頂きましたことを申し添えます。)

30年のあゆみ編集担当者(瀬戸山顧問)

著者 川村信人氏のご紹介

1971(昭和46)年 ~ 札幌に居住
1974(昭和49)年 ~ 岩手県の地質研究に従事する。
1984(昭和59)年 ~ 北海道の地質研究に従事する。
1992(平成 4)年 ~ しんえい西団地に入居
2018(平成30年) ~ NPO法人北海道総合地質学研究センター会員

※ ホームページ版の本文は、別項目で掲載しております。
インデックスページをご覧ください。

写真で見る、私たちの街の四季



4
April

- 新入児童交通安全パレード
- 春の交通安全街頭啓発運動
- 自治会春の一斉清掃
- 定期総会・定期総会后懇親会



5
May

- 街路樹花壇の花植
- 町連主催「ゴミ0の日 クリーン作戦」
- 町内公園・道路清掃開始(ハルニレ会)





6
June

○ 町連主催パークゴルフ大会参加



7
July

8
August

- 夏の交通安全街頭啓発
- 町連主催「夏祭り」協賛支援
- 町連主催「防犯パトロール」参加
- 子どもラジオ体操・七夕まつり・ローソクだーせ・花火大会





9
September

- 焼き肉パーティー
- 児童絵画展
- 敬老祝い贈呈
- 秋の交通安全街頭啓発





10
October

町連主催「防犯防災研修会」



11
November

○ 冬の交通安全街頭啓発



12
December

○ 町連主催「福まち運営委員会」



1
January

○ 清田区・町連主催「新年会」参加
○ 新年交礼会



2
February

3
March

- 町連主催「アイスクンドルの小道」支援
- 生活道路の排雪
- 役員会



思い出の・・・あの日、あの時



年 表 (自治会のあゆみ)

年表(自治会のあゆみ)について

- 1 本年表は、主として自治会各年度業務報告(各年度議案書)から収集し、その他の関連する資料も掲載しました。
- 2 毎年・毎月の恒常的行事(例:定期総会、役員会議、班長会議、年間の各部関連行事等々)は省略しました。
定期総会については、「資料⑩ 自治会定期総会開催日一覧」(71頁)に集約掲載しました。
- 3 清田中央地区町内会連合会行事等については、自治会として参加、協力支援をしておりますが、省略させて頂きました。
ただし、前2及び3項とも、初回の行事は起点を表すものとして表記しました。
- 4 本年表中、誤りを発見されましたらお手数ですが、本誌発刊責任者(自治会長)あてご連絡下さい。(電話可)

年 号	月 日	しんえい西自治会のあゆみ	日本・地域の出来事
平成2年 (1990年)	4月頃～	日特建設株式会社により、真栄宅地開発工事始まる。	2年4月 たちばな蕎麦店現在地に 店舗開店
平成3年 (1991年)		宅地工事終了につき、販売開始	2年8月 湾岸戦争勃発 3年5月 雲仙普賢岳で大火砕流発生 警察官・消防団員・報道関係者に 多数の死者、行方不明者
平成5年 (1993年)	7月 4日	フォーレストパークしんえい西自治会設立臨時総会開催 議題 ① 自治会設立について ② 自治会会則(案)について ③ 役員選任及び役員職務(案)について ④ 団地管理費、TV共同受信施設、自治会館建設 について(場所 しんえい農事会館)	4年9月 毛利さん8日間の宇宙旅行 4年9月 バルセロナ五輪で日本メダ ル22個
	8月22日	自治会主催焼肉大会(総合案内所横空き地)(128名)	◎ 7月12日 北海道南西沖地震、奥尻島で津波 と大火で死者行方不明者239人
	10月 1日	清田連合町内会に正式入会	◎8党派連立政権 細川総理誕生
	10月25日	合同町内会館建設正式断念(第4町内会長より)	
	11月 8日	会館建設用地寄付の方法と会館建設補助金について豊平 区役所市民部市民課を訪問 (訪問者 古部会長、日特建設㈱ 三沢部長、永広課長)	
	11月30日	ゴミ置きネット設置	
	12月14日	日特建設株式会社が札幌市に土地寄付の手続き (古部・東峰両氏が豊平区役所にて確認)	
平成6年 (1994年)	2月 1日	会館敷地寄付受け(札幌地連第1137号 平6.2.8 札幌市長 桂 信雄)(宅地246.14㎡) 寄贈者 東京都中央区銀座8丁目14番14 日特建設株式会社 代表取締役 角 野 実 様	◎非自民政権 村山政権誕生 ◎羽田内閣社会党離脱で64日で 終わる。
	3月31日	テレビ共同受信施設一時金入金(3年7月～6年3月 (3年7月～6年3月 158戸 1,264万円 8万円/戸))	
	4月17日	テレビ共同受信施設管理組合設立臨時総会	
	9月10日	会館運営規約、会館祝賀会開催、会館備品購入役員会	
	6月 日	自治会館竣工	
平成7年 (1995年)	1月21日	新年懇親会(後の新年交礼会)	◎地下鉄震が関付近で猛毒神経ガ ス「サリン」が撒かれ、死者10名、被 害者5000人
	2月19日	初のパートナーシップ制による生活道路の排雪実施	2月10日豊浜トンネルで岩盤崩落、 20人が犠牲となる。
	5月28日	街路樹ます花壇の花植え	
	7月25日	第1回子供ラジオ体操実施(7月25日～8月12日)	
	8月 1日	長寿会(しんえい西自治会老人クラブ)設立発足 (長寿会は、後の現・「はるにれ会」に名称変更)	
	10月 1日	第1回焼肉パーティ(165名参加)	

年号	月日	しんえい西自治会のあゆみ	日本・地域の出来事
平成18年 (2006年)	17年全期	TV共同受信方法の変更 ① 早急に受信設備の更新が必要 ② 2011年TVデジタル化による新規設備費等多額の経費必要 ③ 外部事業者の視聴方法に切り替えた方が有利 よつて、自治会共同受信事業は廃止、有料放送事業者(株)ジェイコムと団体視聴契約を締結、有料による視聴に切り替える。 MS「楡」自治会入会4戸 班の数 全13コ班となる。	1月清田中央・みどりパークゴルフ場リニューアルオープン 3月第1回WBC日本初代チャンピオン(監督 王 貞治) 5月27日インドネシアでM6.3の地震発生死者5,500人以上
	9月 4日	感謝状贈呈(古部貞春氏 長年の自治会長在任の功績)	
	3月31日	自治会広報紙「はるにれ」(第40号)発行	
平成19年 (2007年)		会館設置のテレビ、カラオケセット、音響(マイク・スピーカー)を更新(総額 1,402,375円)	4月3日年金記録漏れ5千万件判明 11月 清田区生誕10周年記念
平成20年 (2008年)	10月19日	清田区土木部主催の除雪体制、冬期の交通安全体制づくり懇談会(しんえい西自治会館)(27名参加)	6月8日東京秋葉原で無差別殺人
20年全期	ゴミステーションのネット新調(追加4カ所、ネット収納ボックス5ヶ所、カラス除けサークル1カ所)		
平成21年 (2009年)	3月 8日	ゴミ有料化に伴う札幌市環境局主催の説明会(しんえい西自治会館)(50名参加)	◎家庭ごみ有料化などの新ごみルール開始 3月第2回WBC日本が2年連続優勝(監督 原 辰徳)
	21年全期	ゴミステーションの管理(7月10日からの有料化に伴い) ① 収集日カレンダーの設置 ② 役員・班長・当番者による搬出適正指導 ③ ゴミ分別注意喚起文書配布 の3項目を実施した。	
平成22年 (2010年)	4月25日	第3代会長 坪坂 昇氏 就任 第2代会長 関口 栄吉氏 顧問へ	8月30日衆議院選で民主党が圧勝 6月清田中央地区町内会連合会創立20周年
	5月16日	感謝状贈呈 (関口 栄吉氏 自治会長並びに長期役員在任の功績)	
	12月25日	自治会広報紙「はるにれ」(第50号)発行	
平成23年 (2011年)	22年全期	会館改修工事会議を重ねたが、最終的に役員会議で否決となる。 清田中央地区町連から無償譲渡(折畳み机8個、椅子20脚、椅子収納運搬車1台)	6月13日小惑星探査機「隼」が帰還 12月清田南通り開通
	8月24日	「地縁による団体の認可取得(第19次定期総会承認決議)	
	9月 4日	平成10年以来続いていた東急ストア真栄店での児童絵画展は東急ストアから東光ストアへの経営者変更となり、今回から会場を自治会館への変更となる。(合計32点展示)	
平成24年 (2012年)	3月11日	東日本大震災に対し自治会として10万円を寄金	1月25日第2代会長 関口栄吉氏死去 3月11日東日本大地震死者行方不明数2万人超える。 ◎東日本大震災で東電福島第一原発が破壊、放射能が拡散
	6月30日	自治会館外壁等改修工事(施工業者:黒川塗装工業(有)ほか(外壁張替、屋根塗装、内部書庫棚造作、靴箱棚造作、灯油タンク危険物標示一式) ~7月16日まで(1,830,400円)	
	7月 1日	自治会会員居住地図各戸配布	

年号	月日	しんえい西自治会のあゆみ	日本・地域の出来事	
平成29年 (2017年)	3月13日	清田中央地区町連主催AED講習会実施13参加(清田消防署の支援を受ける。)	12月17日 もうり歯科クリニック開院	
	5月16日	キツネ・カラスの餌付け禁止について全員に文書要請		
	7月16日	ゴミステーションNo,7A,7Bの改良作業(折り畳み式立体型へ)		
	8月26日	自治会役員ヘルメットに自治会名・役職名を表示		
	9月19日	敬老祝い贈呈(17名)		
	10月29日	クリーンさっぽろ衛生モデル地区として環境美化ごみ減量の功績により受章(クリーンさっぽろ衛生推進連絡協議会長)		
	2月26日	2017冬季アジア札幌大会への応援協力 (堀川副会長、佐藤防犯防災部長、佐藤 晟氏(2班))		
	3月15日	自治会「社会福祉推進委員会の設置」 (委員長:坪坂会長以下全役員が委員となり出席)(清田区社協の協力を頂く)		
	6月14日	自治会館大ホール照明のLED化(一式320,000円)		
	9月15日	敬老祝い贈呈(15名)		
平成30年 (2018年)	10月14日	排雪調整会議(フォーレストパーク壱番館、弐番館理事長と坪坂自治会長)	11月清田区誕生20周年	
	11月17日	「クリーンさっぽろ実践模範地区」として札幌市長賞受賞		
	2月3日	自治会内生活道路排雪作業(~4日)(今年度からパートナーシップ制に変更)		
	4月 8日	折り畳み式立体型ゴミステーションNO,11新設運用開始		
	4月15日	自治会定期総会(78名参加、委任状128名) 第4代会長 花松 繁 氏就任 第3代会長 坪坂 昇 氏顧問へ		
	9月 2日	感謝状贈呈 (古部 貞春氏 初代会長、民生委員等26年余に及ぶ功績) (坪坂 昇氏 16年余に及ぶ自治会会長・役員としての功績)		9月6日北海道胆振東部地震発生
	9月17日	敬老祝い贈呈(20名)		
	10月 6日	自主防災会議開催(11月10日、12月9日も開催) 北海道胆振東部地震発生に伴う自然災害の深刻さに鑑み今回の知見をもとに今後の対応について検討(主管:防犯防災部) (花松会長、瀬戸山総務部長、堀川会計部長、田中防犯防災部長、石井同副部長、佐崎総務副部長、岡本総務副部長)		
	10月15日	自治会広報紙「はるにれ」(第70号)発行		
	平成31年 (2019年)	2月27日		
令和元年 (2019年)		5月 1日	「令和」元号発布	
	9月16日	敬老祝い贈呈(22名)	12月17日 清田通開通式	
令和2年 (2020年)	2月 2日	排雪に伴う緊急役員会議(小雪につき排雪作業中止決定)	1月15日 国内初のコロナ感染者確認	
	3月21日	折り畳み式立体型ゴミステーション新設(No,2)		
	4月26日	第28次定期総会(コロナ禍のため書面表決方式)		
	7月 1日	コロナ禍のため自治会行事の自粛決定 育成部全行事、焼肉パーティ行事、年度末までの班長・役員会議		
	7月10日	第28次定期総会意見・質疑事項に対する回答		
	7月20日	自治会内街路樹撤去に関する書面表決を実施		10月1日 国勢調査

年号	月日	しんえい西自治会のあゆみ	日本・地域の出来事
平成8年 (1996年)		※ 資料なし	
平成9年 (1997年)	3月 1日 4月27日	自治会広報紙「はるにれ」(創刊号)発行 町内春の一斉清掃(約110名参加)	11月4日 豊平区の分区により清田区誕生(人口:約10万7千人、世帯数:約3万7千世帯、面積:59.79km)
平成10年 (1998年)	5月～10月 9月17日 9月18日	はるにれ会会員による2公園、道路、花壇の保守清掃等(延30回) 歩道花壇の美化運動の貢献により札幌市長表彰受賞 第1回児童絵画コンクール(～23日まで) (会場:東急ストア真栄店にて展示)(全36点)	2月1日 みどり歯科医院開院
平成11年 (1999年)		※ 資料なし	
平成12年 (2000年)	4月23日 4月23日 4月 日 8月 日 8月 日 9月13日	2000年記念植樹(あおぞら公園・風の子公園に八重紅しだれ桜5本を寄贈植樹)(参加者20名) 同上の樹木寄贈により札幌市長から感謝状受賞 しんえい西自治会の所属町内会連合会の移籍 「清田地区町内会連合会」から「清田中央地区町内会連合会」へ移籍 催事用白色テント1張り購入¥138,285円、 催事用白色テント1張り寄贈受け(古部貞春氏) 敬老の日イベント手作り弁当作成(65歳以上者15名に贈呈)	5月ごみゼロの日「街頭キャンペーン」開始
平成13年 (2001年)	1月14日	13年度定期総会開催	
平成14年 (2002年)	? 7月27日	自治会年度の変更(歴年度 → 会計年度) 清田中央地区南連絡協議会主催「夏祭り」協賛(清田南公園)	5月日韓共同ワールドカップ開催 9月17日小泉首相訪朝 10月17日北朝鮮に拉致された5名帰国 ◎米英イラクに侵攻開始
平成15年 (2003年)	5月21日 9月20日 15年全期	自治会広報紙「はるにれ」(第30号)発行 清田中央町連からの敬老記念事業祝い品のお届け(85歳以上者 3名) 自治会館増築及び改修を提案するも建築基準法による面積超過のため改修を見送る。	
平成16年 (2004年)	4月 7日 5月30日 6月20日 16年全期 // //	新1年生のための交通安全街頭啓発(4条1丁目信号機付交差点(～15日まで)) 清田中央地区町連主催「街をきれいに クリーン作戦」に参加(後年の「ごみゼロ 5.30運動」に名称変更) TVデジタル化に伴う受信方法についてのTV受信調査諮問委員会を設置 委員長 菅原数晴 委員 古部貞春・末竹洋美 会館横駐車場に物置(約20㎡)を設置(¥346,500円) 会館用除雪機購入(ホンダHS660)(¥345,450円) 会館補修(屋根及び外壁塗装、屋内暖房設備のオーバーホール) 総額 1,522,080円	4月イラクで日本人人質事件発生 9月26日十勝沖地震発生 10月23日新潟県中越地震発生 死者23人、被災者10万人
平成17年 (2005年)	4月 5日 4月24日	緑小学校スクールゾーン交通安全パレード参加 第2代会長 関口栄吉氏 就任 初代会長 古部貞春氏 顧問へ	4月25日JR福知山線で快速電車が脱線死者107人、負傷者400人以上

年号	月日	しんえい西自治会のあゆみ	日本・地域の出来事
平成25年 (2013年)	7月22日	6条地域に建設されるサポート付賃貸アパート及び障害者グループホーム新規建設事業の説明会を施主及び建設業者を交えて2回開催した。(1回目参加者21名)(2回目8月12日5名)	2月18日 ケアホーム・イエール真栄 パティオ真栄竣工
	8月14日	折り畳み式立体型ゴミサークル試験導入準備(ステーションNo,9)	
	9月17日	折り畳み式立体型ゴミサークル1号機試験導入(ステーションNo,3) (自治会独自考案負担による。)(製作者 瀬戸山総務部長、川村新一氏(第2班))	
	24年全期	全役員及び全班長に「業務ファイル」(部長・副部長・班長ファイル)を常備させる。	
	//	全役員及び全班長役職者標示札を各戸玄関に標示する。	
	6月1日	折り畳み式立体型ゴミサークル導入についてNo,1、6、8の利用者全員にアンケート実施	
	6月22日	同上結果について関係利用者に通知(早期導入の要請あり)	
	8月4日	折り畳み式立体型ゴミサークル設置(ステーションNo,8)	
	8月14日	折り畳み式立体型ゴミサークル設置(ステーションNo,1)	
	9月16日	清田中央地区町連からの敬老祝い品廃止に伴い、今年度から自治会単独事業として85歳以上の高齢者13名にお祝いを贈呈(折詰総菜、赤飯、紅白饅頭、お茶、会長からのメッセージ)	
平成26年 (2014年)	10月30日	自主防災カードの作成と提出(~11月30日) 人口 793人(未提出世帯8戸・推定で左記に算入) 要援護者数 28名、支援協力者数 119名	
	11月28日	全ゴミステーションに雪かき具(ジョンバ)を設置	
	5月 日	ゴミステーションの形状等について豊平区西岡地区に情報収集(坪坂会長、瀬戸山総務部長、西田環境衛生部長)	
	5月 ~	古部様宅先の歩道花壇の美化作業(~11月) (佐藤 晟、佐藤ナリ子、川村富子氏の3名)(はるにれ会会員)	
	6月 日	会館玄関前照明を自動点灯・消灯方式に切り替え	
	6月18日	折り畳み式立体型ゴミサークル設置(ステーションNo,5)	
	6月27日	あおぞら公園に防災資材庫設置(会館横物置から17品目移動収納)	
	6月30日	折り畳み式立体型ゴミサークルをNo,4・6・10に設置	
	10月13日	スポーツフェスタin白旗山(キックターゲット支援)(青少年育成部)	
	10月 日	今年度から集団資源回収を開始、10月~3月の6回 回収益金12,770円(担当部 環境衛生部)	
平成27年 (2015年)	6月18日	自治会広報紙「はるにれ」(第60号)発行	
	6月19日	自治会地域環境パトロールにより不備箇所を清田区役所に通知改善(歩道10カ所、道路路盤2カ所、雑草除去1カ所、河川内切り株除去2カ所)(環境衛生部)	
	6月27日	ゴミステーションの改善(No,9)(改善担当 瀬戸山総務部長、川村環境衛生副部長)	
	9月27日	敬老祝い贈呈(18名)	
	11月13日	AEDの設置	
	11月29日	ゴミステーションに雪かき道具設置(全10カ所)	
	12月17日	AEDの管理運用について周知(各戸配布)	
	1月 日	ゴミステーションNo,5への使用軒数の調整(No,3及びNo,4の一部の方 → No,5へ)	
平成28年 (2016年)	3月 7日	「キツネ・カラスの餌付け禁止について」自治会内協力文書回覧	

年号	月日	しんえい西自治会のあゆみ	日本・地域の出来事
令和3年 (2021年)	9月16日	敬老祝い贈呈(24名)	
	11月 日	2年度購入の防災資材の保管場所・操作マニュアルを全班長に配布(防犯防災部)	
	11月10日	街路樹撤去に関する請願書を清田区土木センターに申請	
	1月23日	初代自治会長 古部 貞春氏ご逝去	2月17日 新型コロナワクチン接種開始
	3月 6日	育成部行事中止に伴い、全児童にリトルプレゼント(図書券)を贈呈(全54名 @2,000円)	
	4月25日	第30次定期総会(コロナ禍のため書面表決方式)	5月17日 ハルニレ橋補修工事 (~令和4年1月4日)
	6月30日	街路樹撤去の細部及び今後の対策について清田区土木センターを訪問し、詳細について相談実施 (相談者:瀬戸山・水島副会長、東 総務部長)	
	7月25日	街路樹撤去と植樹に関する沿線住民や意見のある住民の意見交換会(真栄西自治会館)	7月東京オリンピック・パラリンピック開催
	9月 3日	自治会内の街路樹処置についての全戸書面表決(2回目)	
	9月13日	敬老祝い贈呈をコロナ禍により中止し、会長メッセージのみ	
10月20日	街路樹撤去と跡地に再植樹の請願書提出(清田区土木センター)		
3年全期	令和3年度はコロナ禍の一層の激増により当自治会各部の活動を中止とした。		
令和4年 (2022年)	4月17日	定期総会新型コロナ禍により書面表決方式	2月24日露軍ウクライナへ侵略
	〃	副会長 瀬戸山 興 平 氏 顧問へ	4月23日 知床観光船「KAZU1」が沈没事故(乗客乗員26人が犠牲となる。)
	5月15日	感謝状贈呈 瀬戸山興平氏 (10年余の自治会副会長・総務部長及び折り畳み式(4B班) むみ式ゴミサークルの考案作成等の功績) 坂下 栄作氏 (第7班前通りに面する花壇の土起し及びゴミサークルの連結部改善や環境衛生部に対する協力の功績) 川村 新一氏 (折り畳み式ゴミサークルの作成協力及び環境衛生副部長就任以来ゴミステーションの維持管理の功績) 末田 和秀氏 (高台公園~自宅~周辺150m付近まで落葉清掃(1班) と冬期は除雪機を使用し道路の除雪を行い生活環境に貢献)	
	7月10日	第30次定期総会(書面表決方式)の意見・質疑の回答(配布)	7月8日 安部晋三・首相が参議院選挙街頭演説中に銃撃され死去
	7月~8月	自治会街路樹「ハルニレ」91本撤去(清田区土木センター)	
	9月19日	敬老祝い贈呈(24名)	
	10月~11月	自治会街路樹「ヤマモミジ」35本再植樹(清田区土木センター)	
令和5年 (2023年)	4月22日	第31次定期総会開催(コロナ禍のため平成2~4年度の3年間、書面表決方式総会から対面による総会となる。)	1月17日 阪神大震災から28年 1月27日 新型コロナ「1類」から「5類」への引き下げ決定
	5月14日	感謝状贈呈 はるにれ会 (長年にわたり自治会地域の環境美化及び通学児童の交通安全確保等の功績)	3月20日 WBC(ワールドベースボールクラシック)14年振り3度目の優勝・大谷翔平(エンゼルス)がMVPに輝く (監督・栗山秀樹氏)
	8月中旬	「しんえい西自治会30年のあゆみ」編集完結 希望者に冊子配布(118戸)及びITによる配信開始(5年 月)	

はるにれ会のあゆみ

はるにれ会 会長 久保雅之

この度、自治会が30年の節目を迎えられましたこと、心からお慶びを申し上げます。当はるにれ会が現在あるのも自治会の皆様のお蔭と厚く御礼申し上げますと共に、この度の「自治会30年のあゆみ」の限られたスペースに、はるにれ会事項までご配慮を頂き重ねて感謝申し上げます。

日頃は、主として自治会の中で活動している「はるにれ会」ですが、折角の機会を頂きましたので本会の生い立ち、目的等についてご紹介させていただきます。

1 はるにれ会の生い立ち

本会は、1995年(平成7年)8月1日に設立されました。設立時の会員は約31名で、明治41・45年生まれ各1名、大正2年生まれを筆頭に大正生まれの方が11名、以下昭和生まれの方が18名でした。設立当時の会員で現在も会員として在籍している方は、東峰春夫氏(現在、豊平区在住で遠隔地会員です。)お一人です。また、歴代の自治会長古部貞春氏、関口栄吉氏(いずれも故人)も会員でありました。

設立以来、27年が経過し所属会員は時の流れとともに入れ替わりましたが、先輩会員の教えを引継いで活動しております。

2 はるにれ会の目的とあゆみ

本会の目的は次の3項目です。

① 会員の健康増進と融和親睦

高齢者は何らかの持病を患っているのが大方です。例会等では健康体操をして足腰の曲げ伸ばしをしたり、パークゴルフ、自主散歩等無理のない範囲で健康維持に努めております。また、例会や日帰り・一泊旅行等も年度計画に沿って実行し、会員間の融和親睦に努めています。

ちなみに平成8年～令和4年まで(27年間)で一泊旅行 25回、日帰り旅行 38回 実施しております。

② 地域社会に貢献するとともに、地域と共に存在する。

私どもは、常に「地域(自治会)があって、はるにれ会があり、一緒に進んで行く。」と考えています。

地域社会=自治会に貢献する。そして自治会の発展と安全安心を願っております。このような考えから設立以来、自治会内のゴミ・空き缶拾いや児童の通学時の交通安全確保等に努めております。

③ 社会の福祉に貢献する。

社会福祉の貢献は、日赤の歳末助け合い運動参加や清田区老人クラブ連合会あるいは清田中央地区老人クラブ協議会が提唱する各種福祉関係への支援を惜まず協力・貢献します。

3 歴代会長のあゆみ

初代	堀野鉄之助氏	平成7年度～平成9年度	(3年間)	(故人)
第2代	小笠原正由氏	平成10年度～平成11年度	(2年間)	(転出)
第3代	関口栄吉氏	平成12年度～平成21年度	(9年間)	(故人)
第4代	瀬戸山興平氏	平成22年度～令和3年度	(11年間)	
第5代	久保雅之氏	令和4年度～	(年間)	

4 会員の入会・退会及び現在の状況

本会への入会・退会は、自由です。入会に当たって本人から事務局に入会希望のお知らせがあり次第、会則、入会申込書等をお持ちし簡単な説明後、内容について了承されましたら、入会申込書を提出頂き入会となります。退会は、口頭で「来月をもって退会したい。」と会長に伝えて頂ければ退会が承認されます。

入会・退会とも会報紙や月例会等で紹介いたします。

令和4年4月現在の会員は、36名(男性:20名、女性16名)です。総会員の平均年齢は77.75歳で最高齢者は94歳(女性)、最若年者は67歳(男性)です。諸事情によりしんえい西自治会を離れ豊平区に転出した会員が男女各1名おりますが、はるにれ会への在会を引続き希望され「遠隔地会員」として在籍しております。

また、夫婦会員は8組で会員の44%を占めています。

5 本会の受賞状況

- | | | |
|-----------------|---------------------|----------------------|
| (1) 平成16年10月25日 | 会員増強加入促進の功績 | 札幌市老人クラブ連合会会長 |
| (2) 平成18年 3月13日 | 札幌市民憲章普及促進の功績 | 札幌市民憲章推進協議会会長 |
| (3) 平成25年 5月16日 | 清掃ボランティアとして地域貢献の功績 | 清田区クリーンさっぽろ衛生推進協議会会長 |
| (4) 令和 5年 5月14日 | 長年にわたり自治会地域美化貢献等の功績 | しんえい西自治会長 |

6 写真でみる活動状況



はるにれ会月例会(平成9年6月)



然別湖一泊旅行(扇ヶ原展望台で)(平成21年7月)



ニセコ一泊旅行(平成13年7月)



第二名水亭一泊旅行(平成22年7月)



清田中央地区老人クラブ協議会演芸発表会



然別湖一泊旅行・夕張市で
(平成21年7月)



町内社会奉仕活動(平成23年5月)



忘年会・大正琴の演奏(平成23年12月)



忘年会(平成23年12月)



勉強会(防災講習会)(平成25年10月)



勉強会(読み聞かせ教室)(平成29年6月)



町内会美化ボランティアの3人(平成26年7月)

令和5年度 はるにれ会定期総



熱心に総会審議中です。



花松総務部長と久保会長



総会後の懇親会

資 料 編

… 目 次 …

資料①	自治会歴代役員状況	53～59
資料②	自治会を支えた役員以外の方々	60～61
資料③	しんえい西自治会役員機能組織図	62
資料④	しんえい西自治会防災機能組織図	63
資料⑤	しんえい西自治会防災用具現況表	64
資料⑥	各班戸数の状況(令和5年3月31日現在)末)	65
資料⑦	自治会集団資源回収の状況	66
資料⑧	自治会居住地図・(その1～その3)	67～69
資料⑨	輝く受賞(はるにれ会含む)	70
資料⑩	自治会定期総会開催日一覧表	71
資料⑪	街路樹代替植樹細部位置計画図	72
資料⑫	町内会に関する新聞記事3件	73
資料⑬	清田中央地区各町内会の発足状況等	74

53頁～59頁までの各頁余白左側に主として伐採前のハルニレのある風景を、各頁余白右側に再植樹された街路樹ヤマモミジの様子を掲載いたしました。
日付は撮影年月です。

折り畳み式自立型ゴミステーション初号機をあおぞら公園に設置しました。現在は、グリーンネットですが、当時はブラックでした。(平成24年9月17日設置)



資料①

自治会歴代役員状況-(その1)

西 暦	1993		1994		1995		1996		1997	
和 暦	平成5年度	班	平成6年度	班	平成7年度	班	平成8年度	班	平成9年度	班
顧問										
顧問										
監事	佐藤 文太郎	1	佐藤 文太郎	1			佐藤 文太郎	1	佐藤 文太郎	1
監事			関口 栄吉	2			関口 栄吉	2	赤石 和敏	8B
会長	古部 貞春	3	古部 貞春	3	(資料確認できず掲載 出来ません。)		古部 貞春	3	古部 貞春	3
副会長	六角 重夫	5	六角 重夫	5		田中 末義	7	田中 末義	7	
副会長	田中 末義	7	田中 末義	7		六角 重夫	5	東峰 春夫	11	
副会長	若月 省三	11	東峰 春夫	11		東峰 春夫	11	堀野 鉄之助	10A	
総務部長	山口 正利		山口 正利			赤石 和敏	8B	関口 栄吉	2	
総務部長	赤石 和敏	8B	山田 哲男	9A						
// 副部長			飯島 照							
会計部長	神元 一重	1	神元 一重	1		神元 一重	1	田中 末義	7	
社会福祉部長			坪田 京子	4B		西出 督	1	西出 督	1	
// 副部長										
青少年育成部長			赤石 和敏	8B		山田 哲男	9A	山田 哲男	9A	
// 副部長			田中 末義	7						
// 副部長										
環境衛生部長			六角 重夫	5		吉田 清策	4B	吉田 清策	4B	
// 副部長			松岡 常義	5						
婦人部長			坪田 京子	4B		坪田 京子	4B	坪田 京子	4B	
// 副部長			斉藤名邦子・只野栄子							
// 副部長			松田和子・長田清美							
防犯防災部長			東峰 春夫	11		堀野 鉄之助		吉田 清策	4B	
// 副部長			古部 貞春	3						
交通安全対策部長			東峰 春夫	11		小笠原 正由	12	小笠原 正由	12	
// 副部長			立花 成晃	5						
会館担当部長										
// 副部長										
共同受信施設担当					奥村 輝和	1	奥村 輝和	1		
// 副部長										
摘 要	7名 (上記以外の役員の方々について確認出来ませんでした。)		22名 (内兼務6名)			13名		13名 (兼務2名)		



松岡様宅(5班)前交差点から4条1丁目信号方向を望む(令和4年6月)



笹原様宅(7班)前の再植樹のヤマモミジ(令和5年6月)

自治会歴代役員状況－(その3)

西 暦	2003		2004		2005		2006		2007	
和 暦	平成15年度	班	平成16年度	班	平成17年度	班	平成18年度	班	平成19年度	班
顧 問					古部貞春	3	古部貞春	3	古部貞春	3
顧 問										
監 事	田中末義	7	田中末義	7	田中末義	7	只野拓男	6A	只野拓男	6A
監 事	小笠原正由	12	田村道次	2	田村道次	2	五十嵐史男	6B	五十嵐史男	6B
会 長	古部貞春	3	古部貞春	3	関口栄吉	2	関口栄吉	2	関口栄吉	2
副 会 長	関口栄吉	2	関口栄吉	2	坪坂昇	5	坪坂昇	5	坪坂昇	5
副 会 長	菅原数晴	10A	坪坂昇	5	—		田村正	4A	田村正	4A
副 会 長	—		—		—		—		—	
総務部長	関口栄吉	2	関口栄吉	2	関口栄吉	2	坪坂昇	2	坪坂昇	5
// 副部長	菅原数晴	10A	石井初恵	1	石井初恵	1	荒井美幸	1	荒井美幸	1
// 副部長	岡本美幸	10A	岡本美幸	10A	岡本美幸	10A	細谷さつき	10B	細谷さつき	10B
会計部長	坪坂昇	5	坪坂昇	5	坪坂昇	5	田村正	4A	田村正	4A
// 副部長	丸山規子	8A	—		—		—		—	
社会福祉部長	市川英二	3	安江美千世	3	安江美千世	3	奥平珠恵	7	奥平珠恵	7
// 副部長	池畑美幸	4B	原田洋美	4A	原田洋美	4A	堂本陽子	8B	堂本陽子	8B
// 副部長	境邦晴	11	—		—		—		—	
青少年育成部長	菊谷宗嗣	12	松田和枝	10A	松田和枝	10A	水野哲夫	12	水野哲夫	12
// 副部長	嘉村修一郎	12	紺野幸子	12	紺野幸子	12	小川厚志	4B	小川厚志	4B
// 副部長	三上太賀紀	6B	新保俊成	8B	新保俊成	8B	桜庭峰子	3	桜庭峰子	3
環境衛生部長	佐藤敏子	1	山崎康子	4B	山崎康子	4B	今野弘樹	11	今野弘樹	11
// 副部長	神元ツネ子	1	嶋洋子	6B	嶋洋子	6B	荒城純子	9B	荒城純子	9B
女性部長	花松昭子	6A	花松昭子	6A	花松昭子	6A	花松昭子	6A	花松昭子	6A
// 副部長	木村麗子	9A	若月ひとみ	6A	若月ひとみ	6A	石橋菜穂子	2	石橋菜穂子	2
// 副部長	宋清美	9B	伊東真智子	9B	伊東真智子	9B	呉屋史枝	9A	呉屋史枝	9A
防犯防災部長	金澤昭男	6A	立花成晃	5	立花成晃	5	奥山新一	5	奥山新一	5
// 副部長	新田浩一	10B	川原伸康	9A	川原伸康	9A	—		—	
// 副部長	大澤富春	4A	—		—		—		—	
交通安全対策部長	(副部長代行)		丸子憲治	7	丸子憲治	7	下天摩守	8A	下天摩守	8A
// 副部長	高梨詔子	7	川田克恵	11	川田克恵	11	—		—	
会館担当部長	山口一雄	9A	山口一雄	9A	山口一雄	9A	下天摩守	8A	下天摩守	8A
// 副部長	—		浜辺弘・原真理子		浜辺弘・原真理子		田近茂	10A	田近茂	10A
共同受信施設担当	堀川繁	9B	堀川繁	9B	堀川繁	9B	(平成18年度からJ, Comとの個人契約方式に切り替えのため施設担当部は廃止となる。)			
// 副部長	川村仁志	2	—		—					
摘 要	26名 (内兼務2名)		25名 (内兼務2名)		24名 (内兼務2名)		21名 (内兼務3名) (共同受信施設担当部 廃止)		21名 (内兼務3名)	



福井様宅(4A班)前からたちばな蕎麦店方向を望む(令和4年6月)



松岡様宅(5班)前交差点から千葉(7班)様宅方向を望む。

自治会歴代役員状況一(その5)

西 暦	2013		2014		2015		2016		2017	
和 暦	平成25年度	班	平成26年度	班	平成27年度	班	平成28年度	班	平成29年度	班
顧問	古部 貞春	3	古部 貞春	3	古部 貞春	3	古部 貞春	3	古部 貞春	3
顧問										
監 事	千葉 正美	7	佐藤 京子	4A	佐藤 京子	4A	菅原 数晴	11	菅原 数晴	11
監 事	林 光男	6A	田中 末義	7	田中 末義	7	浅野 俊江	4B	浅野 俊江	4B
会 長	坪坂 昇	5	坪坂 昇	5	坪坂 昇	5	坪坂 昇	5	坪坂 昇	5
副 会 長	瀬戸山 興平	4B	瀬戸山 興平	4B	瀬戸山 興平	4B	瀬戸山 興平	4B	瀬戸山 興平	4B
副 会 長	佐藤 晟	2	中野 敏	4B	中野 敏	4B	堀川 繁	9B	堀川 繁	9B
副 会 長	—		—		—		—		—	
総務部長	瀬戸山 興平	4B	瀬戸山 興平	4B	瀬戸山 興平	4B	瀬戸山 興平	4B	瀬戸山 興平	4B
// 副部長	山田 順子	9A	先崎 哲夫	9B	先崎 哲夫	9B	國分 学	9A	國分 学	9A
// 副部長	上野 咲子	10A	橋下 一史	12	橋下 一史	12	荒川 ゆかり	9B	荒川 ゆかり	9B
会計部長	佐藤 晟	2	中野 敏	4B	中野 敏	4B	堀川 繁	3	堀川 繁	3
社会福祉部長	田中 郁子	3	水 嶋 初 枝	3	水 嶋 初 枝	3	水 嶋 初 枝	8A	水 嶋 初 枝	8A
// 副部長	菊地 要子	6B	本間 真由美	2	本間 真由美	2	赤石 麻美	9B	赤石 麻美	9B
青少年育成部長	瀬戸山 興平	4B	河井 友美	5	河井 友美	5	鎌野 良重	8A	鎌野 良重	8A
// 副部長	藤根 裕也	8B	山田 茂樹	11	山田 茂樹	11	前田 静枝	7	前田 静枝	7
// 副部長	脇田 尚美	12	—		—		—		—	
環境衛生部長	大澤 富春	4A	西田 学	6A	西田 学	6A	林 昌彦	2	林 昌彦	2
// 副部長	辻内 敦子	8A	布施 令子	10A	布施 令子	10A	坂下 英作	7	坂下 英作	7
// 副部長	—		—		—		川村 新一	2	川村 新一	2
女性部長	澤谷 明美	4B	松田 和子	9A	松田 和子	9A	片石 一美	6B	片石 一美	6B
// 副部長	菊田 よし子	11	天満 有紀	10B	天満 有紀	10B	石井 慶子	5	石井 慶子	5
防犯防災部長	三浦 真	10A	中村 義雄	6B	中村 義雄	6B	佐藤 秀人	12	佐藤 秀人	12
// 副部長	—		三國 豊子	1	三國 豊子	1	山岡 英次	1	山岡 英次	1
// 副部長	—		—		—		清水 郁哉	6A	清水 郁哉	6A
交通安全対策部長	三上 由貴子	9B	成田 敏明	8B	成田 敏明	8B	波多野 徹	9B	波多野 徹	9B
// 副部長	—		—		—		—		—	
会館担当部長	堀尾 美由起	10B	長田 直人	8A	長田 直人	8A	高栗 富美子	11	高栗 富美子	11
// 副部長	下天摩 守	8A	—		—		濱辺 弘	8A	濱辺 弘	8A
摘 要	20名 (内兼務3名)		19名 (内兼務2名)		19名 (内兼務2名)		22名 (内兼務2名) 環境衛生副1名増 防犯防災副1名増		22名 (内兼務2名)	



松田様宅(7班)前から峯西様宅(7班)前交差点方向を望む
(令和4年6月)



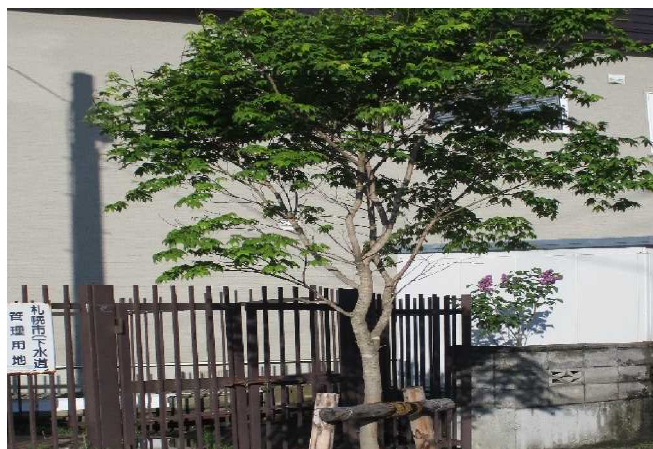
寄谷様宅(7班)前の再植樹のヤマモミジ(令和5年6月)

自治会歴代役員状況－(その7)

西 暦	2023		2019		2020		2021		2022	
	和 暦	班	和 暦	班	和 暦	班	和 暦	班	和 暦	班
顧問	坪坂 昇	5								
顧問	瀬戸山 興平	4B								
監事	斎藤 克美	12								
監事	春日美栄子	10B								
会長	花松 繁	6A								
副会長	水鳥初枝	3								
副会長	一									
総務部長	東 厚志	2								
// 副部長	松田 洋子	7								
// 副部長	宋 永珠	9B								
会計部長	若月省三	6A								
社会福祉部長	水鳥初枝	3								
// 副部長	神元ツネ子	1								
青少年育成部長	伊藤 敬介	2								
// 副部長	田口知子	3								
環境衛生部長	川口清人	4B								
// 副部長	川村新一	3								
// 副部長	松田政明	10A								
女性部長	坂本洋子	6B								
// 副部長	氏家栄子	5								
防犯防災部長	田中裕二	9B								
// 副部長	堂本英男	8B								
交通安全対策部長	久保雅之	9A								
// 副部長	原田洋美	4A								
// 副部長	佐藤照子	11								
会館担当部長	千葉悠子	9A								
// 副部長	中村広彰	8A								
IT管理部長	東 厚志	2								
// 副部長	佐崎芳郎	4A								
摘 要	23名 (内兼務3名)									



街路樹撤去作業中の状況(小原様宅(4B班)前)(令和5年6月)



田近様宅(10B班)横の再植樹のヤマモミジ(令和5年6月)

自治会歴代役員状況－(その2)

西 暦	1998		1999		2000		2001		2002	
和 暦	平成10年度	班	平成11年度	班	平成12年度	班	平成13年度	班	平成14年度	班
顧 問										
顧 問										
監 事	佐藤 文太郎	1	佐藤 文太郎	1	阪本 輝雄	7	堀野 鉄之助	10A	田中 末義	7
監 事	山田 哲男	9A	山田 哲男	9A					小笠原 正由	12
会 長	古部 貞春	3	古部 貞春	3	古部 貞春	3	古部 貞春	3	古部 貞春	3
副 会 長	田中 末義	7	田中 末義	7	田中 末義	7	田中 末義	7	関口 栄吉	2
副 会 長	小笠原 正由	12	小笠原 正由	12	関口 栄吉	2	関口 栄吉	2	菅原 数晴	10A
副 会 長	東峰 春夫	11	東峰 春夫	11	—		—		—	
総務部長	関口 栄吉	2	関口 栄吉	2	関口 栄吉	2	関口 栄吉	2	関口 栄吉	2
// 副部長	—								菅原 数晴	10A
// 副部長	—								岡本 美幸	10A
会計部長	関口 栄吉	2	関口 栄吉	2	奥村 輝和	1	奥村 輝和	1	坪坂 昇	5
// 副部長									丸山 規子	8A
社会福祉部長	西出 督		水島 初枝	3	水島 初枝	3	菅原 数晴	10A	市川 英二	3
// 副部長									池畑 美幸	4B
// 副部長									境 邦晴	11
青少年育成部長	久保田 忠	12	久保田 忠	12	嘉村 修一郎	12	嘉村 修一郎	12	菊谷 宗嗣	12
// 副部長					芦沢 修治	8A	芦沢 修治	8B	嘉村 修一郎	12
// 副部長									三上 太賀紀	6B
環境衛生部長	吉田 清策	4B	大橋 由美子	2	大橋 由美子	2	佐藤 敏子	1	佐藤 敏子	1
// 副部長							長沢 陽子	1	神元 ツネ子	1
女性部長	黒瀧 和子	10B	黒瀧 和子	10B	黒瀧 和子	10B	花松 昭子	6A	花松 昭子	6A
// 副部長							太田 雅子	8B	木村 麗子	9A
// 副部長							長田 清美	8A	宋 清美	9B
防犯防災部長	吉田 清策	4B	奥村 輝和	1	藤根 裕也	8B	藤根 裕也	8B	金澤 昭男	6A
// 副部長									新田 浩一	10B
// 副部長									大澤 富春	4A
交通安全対策部長	小笠原 正由	12	小笠原 正由	12	小笠原 正由	12	小笠原 正由	12	藤澤 弘之	12
// 副部長									高梨 詔子	7
会館担当部長					山口 一雄	9A	山口 一雄	9A	山口 一雄	9A
// 副部長							太田 雅子	8B	太田 雅子	8B
共同受信施設担当	奥村 輝和	1	奥村 輝和	1	堀川 繁	9B	堀川 繁	9B	堀川 繁	9B
// 副部長									川村 仁志	2
摘 要	13名 (内兼務3名) 「婦人部」は、「女性部」 に名称変更		13名 (内兼務3名)		14名 (内兼務1名) 青少年育成部副部長 増員		18名 (内兼務2名) 環境・女性・会館副部長 増員		28名 (内兼務2名) 総務・会計・社福・防災・ 交通副部長増員	



たちばな蕎麦店前から4条信号機方向を望む(令和4年6月)



佐崎様宅(4A班)前の再植樹のヤマモミジ(令和5年6月)

自治会歴代役員状況一(その4)

西 曆	2008		2009		2010		2011		2012	
和 曆	平成20年度	班	平成21年度	班	平成22年度	班	平成23年度	班	平成24年度	班
顧問+A56:A83	古部貞春	3	古部貞春	3	古部貞春	3	古部貞春	3	古部貞春	3
顧問					関口栄吉	2				
監事	森内和枝	6B	森内和枝	6B	阿部孝枝	6B	阿部孝枝	6B	千葉正美	7
監事	佐藤法雄	11	佐藤法雄	11	川田雅春	11	川田雅春	11	林光男	6A
会長	関口栄吉	2	関口栄吉	2	坪坂昇	5	坪坂昇	5	坪坂昇	5
副会長	坪坂昇	5	坪坂昇	5	瀬戸山興平	4B	瀬戸山興平	4B	瀬戸山興平	4B
副会長	西本裕登	1	西本裕登	1	奥山正男	11B	奥山正男	11B	佐藤晟	2
副会長	—		—		—		—		—	
総務部長	坪坂昇	5	坪坂昇	5	瀬戸山興平	4B	瀬戸山興平	4B	瀬戸山興平	4B
// 副部長	仲田郁子	4A	仲田郁子	4A	花田みゆき	3	花田みゆき	3	山田順子	9A
// 副部長	福田睦子	7	福田睦子	7	山口恵子	9A	山口恵子	9A	上野咲子	10A
会計部長	西本裕登	1	西本裕登	1	奥山正男	1	奥山正男	1	佐藤晟	2
社会福祉部長	斎藤恵美子	12	森澤真由美	12	黒瀧明男	10B	黒瀧明男	10B	田中郁子	3
// 副部長	大参智	10A	大参智	10A	澤田小百合	8B	澤田小百合	8B	菊地要子	6B
青少年育成部長	平田理恵	9A	平田理恵	9A	武田幸恵	8A	武田幸恵	8A	六角重夫	5
// 副部長	船水早苗	4B	船水早苗	4B	笠原薫	4A	笠原薫	4A	藤根裕也	8B
// 副部長	成田美貴	10B	成田美貴	10B	菊谷宗嗣	12	菊谷宗嗣	12	脇田尚美	12
環境衛生部長	土屋慈正	3	土屋慈正	3	松岡常義	5	松岡常義	5	大澤富春	4A
// 副部長	林昌彦	6A	林昌彦	6A	柳本順子	7	柳本順子	7	辻内敦子	8A
女性部長	花松昭子	6A	花松昭子	6A	中村さとみ	10A	中村さとみ	10A	澤谷明美	4B
// 副部長	小原由美子	4B	小原由美子	4B	吉田郁子	4B	吉田郁子	4B	菊田よし子	11
// 副部長	山田美枝子	9B	山田美枝子	9B	—		—		—	
防犯防災部長	末竹勲	2	末竹勲	2	羽原修司	2	羽原修司	2	三浦真	10A
// 副部長	—		—		—		—		—	
交通安全対策部長	船越慶子	5	船越慶子	5	皆川直子	12	皆川直子	12	三上由貴子	9B
// 副部長	—		—		—		—		—	
会館担当部長	下天摩守	8A	下天摩守	8A	阿部邦夫	6A	阿部邦夫	6A	堀尾美由起	10B
// 副部長	山口一雄	9A	山口一雄	9A	浜辺弘	8A	浜辺弘	8A	六角重夫	5
摘 要	21名 (内兼務2名)		21名 (内兼務2名)		20名 (内兼務2名)		20名 (内兼務2名)		20名 (内兼務3名)	
							関口会長逝去(1月)			



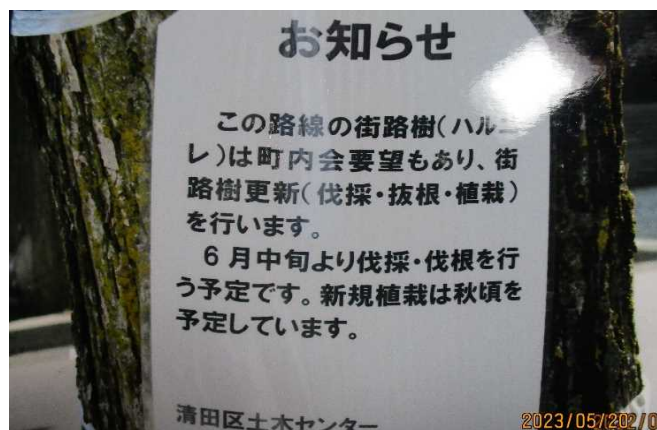
MS楡前から松岡様宅(5班)前交差点方向を望む(令和4年6月)



杉山様宅(7班)前の再植樹のヤマモミジ(令和5年6月)

自治会歴代役員状況－(その6)

西 暦	2018		2019		2020		2021		2022	
	和 暦	平成30年度	班	平成31・令1年度	班	令和2年度	班	令和3年度	班	令和4年度
顧問	古部 貞春	3	古部 貞春	3	古部 貞春	3	坪坂 昇	5	坪坂 昇	5
顧問	坪坂 昇	5	坪坂 昇	5	坪坂 昇	5	—		瀬戸山 興平	4B
監事	滝沢アサ子	3	滝沢アサ子	3	杉山 恵子	7	杉山 恵子	7	斎藤 克美	12
監事	渡邊 理恵	11	渡邊 理恵	11	木村 幸栄	12	木村 幸栄	12	春日 美栄子	10B
会長	花松 繁	6A	花松 繁	6A	花松 繁	6A	花松 繁	6A	花松 繁	6A
副会長	瀬戸山 興平	4B	瀬戸山 興平	4B	瀬戸山 興平	4B	瀬戸山 興平	4B	水島 初枝	3
副会長	堀川 繁	9B	堀川 繁	9B	水島 初枝	3	水島 初枝	3	—	
総務部長	瀬戸山 興平	4B	瀬戸山 興平	4B	東 厚志	2	東 厚志	2	東 厚志	2
〃 副部長	佐崎 芳郎	4A	佐崎 芳郎	4A	田栗 道大	3	田栗 道大	3	松田 洋子	7
〃 副部長	岡本 美幸	10A	岡本 美幸	10A	伊東 真弓	4B	伊東 真弓	4B	宋 永珠	9B
会計部長	堀川 繁	9B	堀川 繁	9B	川村 信人	6A	川村 信人	6A	若月 省三	6A
社会福祉部長	水島 初枝	3	水島 初枝	3	水島 初枝	3	水島 初枝	3	水島 初枝	3
〃 副部長	峯西 美穂子	6B	峯西 美穂子	6B	斉藤 英子	5	斉藤 英子	5	神元 ツネ子	1
青少年育成部長	竹内 孝	12	竹内 孝	12	荻田 朋美	9B	荻田 朋美	9B	伊藤 敬介	2
〃 副部長	大平 真由美	4B	大平 真由美	4B	鯉谷 瑞代	10B	鯉谷 瑞代	10B	田口 知子	3
環境衛生部長	大馬 力	6A	大馬 力	6A	大馬 力	6A	大馬 力	6A	川口 清人	4B
〃 副部長	坂下 栄作	7	坂下 栄作	7	川村 新一	3	川村 新一	3	川村 新一	3
〃 副部長	川村 新一	2	川村 新一	2	佐藤 敏子	1	佐藤 敏子	1	松田 政明	10A
〃 副部長	—		—		立花 秀恭	10A	立花 秀恭	10A	—	
女性部長	磯部 かおる	1	磯部 かおる	1	前田 知恵子	6B	前田 知恵子	6B	坂本 洋子	6B
〃 副部長	石川 美香	10B	石川 美香	10B	島津 和子	8A	島津 和子	8A	氏家 栄子	5
防犯防災部長	田中 裕二	9B	田中 裕二	9B	田中 裕二	9B	田中 裕二	9B	田中 裕二	9B
〃 副部長	山内 務巨	2	山内 務巨	2	越後	4A	越後	4A	堂本 英男	8B
〃 副部長	石井 広子	5	石井 広子	5	飯山 晃由	11	飯山 晃由	11	—	
交通安全対策部長	久保 雅之	9A	久保 雅之	9A	久保 雅之	9A	久保 雅之	9A	久保 雅之	9A
〃 副部長	橋本 輝彦	8A	橋本 輝彦	8A	新保 俊哉	8B	新保 俊哉	8B	原田 洋美	4A
〃 副部長	—		—		—		—		佐藤 照子	11
会館担当部長	藤沢 真理子	8B	藤沢 真理子	8B	竹内 誓子	9A	竹内 誓子	9A	千葉 悠子	9A
〃 副部長	川村 新一	2	川村 新一	2	川村 新一	2	川村 新一	2	中村 広彰	8A
IT管理部長	—		—		—		—		東 厚志	2
〃 副部長	—		—		—		—		佐崎 芳郎	4A
摘 要	23名 (内兼務3名)		23名 (内兼務3名)		24名 (内兼務2名)		24名 (内兼務2名)		24名 (内兼務2名) IT管理部創設(2名増) 古部顧問逝去(3年1月)	



街路樹撤去前に掲示されたお知らせ(令和4年6月)



阪本様宅(7班)前の再植樹のヤマモミジ(令和5年6月)

資料②

自治会を支えた役員以外の方々①

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
自治会地区・民生委員	古部貞春	古部貞春	古部貞春	古部貞春	古部貞春
福祉のまち推進委員	古部貞春	古部貞春	古部貞春	関口栄吉	関口栄吉
福祉のまち推進協力員	太田雅子	太田雅子		安江美千世	奥平珠恵
札幌市青少年育成委員会委員	佐藤敏子	佐藤敏子	佐藤敏子	高栗富美子	高栗富美子
清田区クリーンさっぽろ衛生推進員	佐藤敏子	佐藤敏子	山崎康子	山崎康子	今野弘樹
札幌市福祉除雪地域協力員	山口一雄	山口一雄	山口一雄	山口一雄	山口一雄
札幌市河川環境モニター	一	菅原数晴	菅原数晴	一	一
札幌市交通安全指導員			丸子憲治	丸子憲治	丸子憲治
スクールガード(防パト)				関口栄吉	関口栄吉 瀬戸山興平
				瀬戸山興平	奥山新一 下天摩守
				奥山新一	皆川紀子 神元ツネ子
					池田悦子
					高栗富美子
					堀川繁

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
自治会地区・民生委員	古部貞春	古部貞春	古部貞春	古部貞春	古部貞春
福祉のまち推進委員	関口栄吉	関口栄吉	関口栄吉	坪坂昇	坪坂昇
福祉のまち推進協力員	奥平珠恵	斉藤恵美子	森澤真由美	黒滝明男	黒滝明男
札幌市青少年育成委員会委員	高栗富美子	高栗富美子	高栗富美子	高栗富美子	高栗富美子
清田区クリーンさっぽろ衛生推進員	今野弘樹	土屋慈正	土屋慈正	松岡常義	松岡常義
札幌市福祉除雪地域協力員	山口一雄	山口一雄	山口一雄	一	一
スクールガード(防パト)	関口栄吉	関口栄吉	関口栄吉	坪坂昇	坪坂昇
	瀬戸山興平	瀬戸山興平	瀬戸山興平		
	奥山新一	奥山新一	奥山新一	瀬戸山興平	瀬戸山興平
	下天摩守	下天摩守	下天摩守		
	皆川紀子	皆川紀子	皆川紀子	奥山新一	奥山新一
	神元ツネ子	神元ツネ子	神元ツネ子		
	池田悦子	池田悦子	池田悦子		
	高栗富美子	高栗富美子	高栗富美子		
堀川繁	堀川繁	堀川繁			

自治会を支えた役員以外の方々 ②

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
自治会地区・民生委員	古部 貞春	古部 貞春	古部 貞春	古部 貞春	古部 貞春
福祉のまち推進委員	坪坂 昇	坪坂 昇	坪坂 昇	坪坂 昇	坪坂 昇
福祉のまち推進協力員	田中 郁子	田中 郁子	水 嶋 初 枝	水 嶋 初 枝	水 嶋 初 枝
清田中央地区社会福祉協議会広報員	—	—	瀬戸山 興平	瀬戸山 興平	—
札幌市青少年育成委員会委員	高栗 富美子	高栗 富美子	—	—	—
清田区クリーンさっぽろ衛生推進員	大澤 富春	大澤 富春	西田 学	西田 学	林 昌彦
スクールガード(防パト)	坪坂 昇	坪坂 昇	坪坂 昇	坪坂 昇	坪坂 昇
	瀬戸山 興平	瀬戸山 興平	瀬戸山 興平	瀬戸山 興平	瀬戸山 興平
	奥山 新一	奥山 新一	奥山 新一	奥山 新一	奥山 新一
	—	—	—	—	波多野 徹

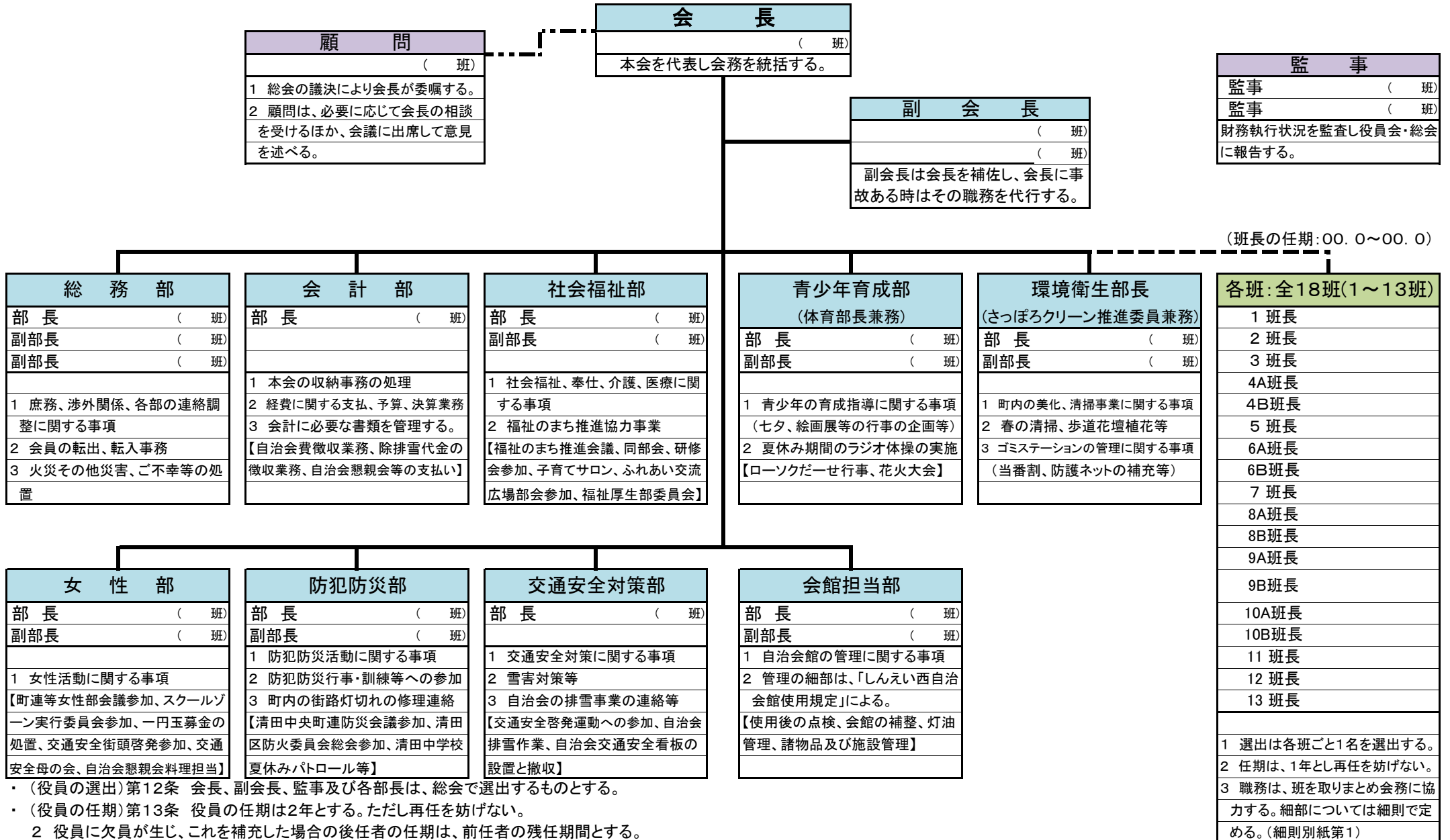
	平成29年度	平成30年度	平成31・1年度	令和2年度	令和3年度
自治会地区・民生委員	田村まさみ	田村まさみ	田村まさみ	田村まさみ	田村まさみ
福祉のまち推進委員	坪坂 昇	花松 繁	花松 繁	花松 繁	花松 繁
福祉のまち推進協力員	水 嶋 初 枝	水 嶋 初 枝	水 嶋 初 枝	水 嶋 初 枝	水 嶋 初 枝
清田区クリーンさっぽろ衛生推進員	林 昌彦	大馬 力	大馬 力	大馬 力	大馬 力
スクールガード(防パト)	坪坂 昇	瀬戸山 興平	瀬戸山 興平	瀬戸山 興平	瀬戸山 興平
	瀬戸山 興平	奥山 新一	久保雅之	久保雅之	久保雅之
	奥山 新一	久保雅之	波多野 徹	波多野 徹	波多野 徹
	波多野 徹	波多野 徹	—	—	—

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
自治会地区・民生委員	田村まさみ	田村まさみ			
福祉のまち推進委員	花松 繁	花松 繁			
福祉のまち推進協力員	水 嶋 初 枝	水 嶋 初 枝			
清田区クリーンさっぽろ衛生推進員	川口清人	川口清人			
スクールガード(防パト)	久保雅之	久保雅之			
	波多野 徹	波多野 徹			
	原田洋美	原田洋美			
	佐藤照子	佐藤照子			

しんえい西自治会役員機能組織図

(期間:平成〇〇年〇月～平成〇〇年〇月)

平成〇〇年〇月〇〇日
しんえい西自治会(総務部)



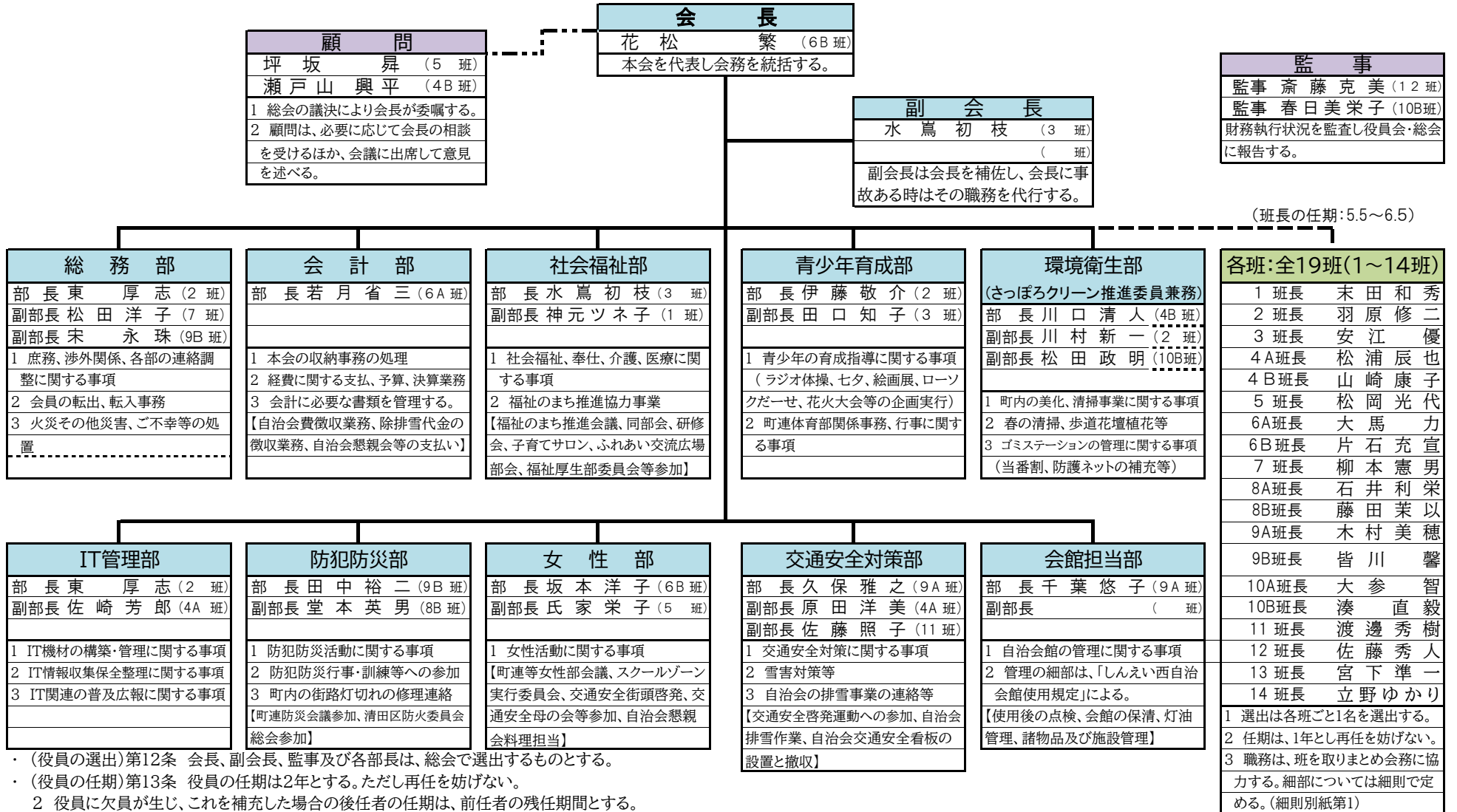
- ・(役員の選出)第12条 会長、副会長、監事及び各部長は、総会で選出するものとする。
- ・(役員の任期)第13条 役員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。
 - 2 役員に欠員が生じ、これを補充した場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

資料 ③

しんえい西自治会役員機能組織図

(期間:令和4年5月~令和6年5月)

令和5年5月 日現在
しんえい西自治会



資料④

しんえい西自治会自主防災活動組織図

(令和4年5月～令和6年4月)

札幌市役所保健福祉局総務部	211-2932
札幌市役所危機管理対策室	211-3062
清田区役所	889-2400
清田区消防署	883-2100
清田中央街づくり	884-7187
自治会本部長	885-2754
花松 繁	090-3892-0541
自治会防災リーダー	885-3999
田中裕二	090-8637-1271

顧問	
顧問 坪坂 昇 (5班)	
顧問 瀬戸山 興平 (4B班)	
全般的立場から本部長への助言	

本部長	
自治会長 花松 繁 (6A班)	
災害活動時の指揮・調整	

副本部長	
副会長 水 鷲 初 枝 (3班)	
本部長の補佐及び本部長に事故ある時はその職務を代行する。	

防災リーダー	
部長 田中裕二 (9B班)	
副部長 堂本英男 (8B班)	
副部長	(班)

総括部	
部長 東 厚 志 (2班)	
副部長 宋 永 珠 (9B班)	
副部長 佐崎 芳 郎 (4A班)	

情報連絡部	
部長 久保雅之 (9A班)	
副部長 若月省三 (6A班)	
副部長 伊藤 敬 介 (2班)	

救出・避難・消火部	
部長 川口清人 (4B班)	
副部長 川村新一 (2班)	
副部長 松田政明 (10A班)	

給食・給水部	
部長 坂本洋子 (6B班)	
副部長 氏家栄子 (5班)	
副部長 千葉悠子 (9A班)	

非常時	1 各活動部、ブロックとの調整・指示 2 防災機関への連絡 3 自治会内防災状況の把握
平常時	1 防災機関の位置確認 2 任務分担、連絡網の確立 3 自治会員対象の防災訓練の計画等

1 防災機関との連絡調整 2 自治会内防災状況の把握 3 防災リーダーの支援
1 防災リーダーの支援 2 自治会内の防災に関する統制調整等

1 災害・被害状況の把握 2 安否確認 3 防災リーダーへの各種情報の連絡
1 危険箇所の把握 2 避難先の把握 3 防災知識の普及

1 人命救助、負傷者の応急手当 2 避難経路の安全確認 3 避難誘導
1 防災資器材の点検、応急手当受講 2 避難場所の周知 3 要介護者の把握

1 救援物資の受領・配布 2 飲料水の確保、炊き出し
1 備蓄物の準備、点検・計画 2 給水場所の把握 3 炊き出し資材の確保等

ブロック
班・戸数

Aブロック	
1・2・3・4A班・・・74戸	
長	第1班長
副	
連絡班	第2班長
救出救護班	第3班長
避難誘導班	第4A班長
消火班	

Bブロック	
4B・5・6A・6B・7・13班・・・78戸	
長	第4B班長
副	第5班長
連絡班	第6A班長
救出救護班	第6B班長
避難誘導班	第7班長
消火班	

Cブロック	
8A・8B・9A・9B・12班・・・77戸	
長	第8A班長
副	第8B班長
連絡班	第9A班長
救出救護班	第9B班長
避難誘導班	第12班長
消火班	

Dブロック	
10A・10B・11班・・・46戸	
長	第10A班長
副	
連絡班	第10B班長
救出救護班	第10B班長
避難誘導班	第11班長
消火班	

※ ブロックの長・副及び各班の班長は暦年毎順次繰り上がるものとする。

資料⑤

しんえい西自治会防災用具現況表

令和5年4月末現在

番号	品名	規格・形状	保管場所		備考
			会館横物置	青空公園	
1	かませ木	130mm×130mm×300mm	2		平成25年札幌市
2	油圧ジャッキ	2t	1		//
3	防火バケツ 赤		5	6	//
4	カナてこバール	Φ25mm L=1500mm	1	1	//
5	両口ハンマー	W=3.6kg	2	1	//
6	木割斧	W=1.7kg	2	1	//
7	手引き鋸	L=450mm	1	1	//
8	剣先スコップ	DCM 製	3	1	//
9	木槌(かけや大)		1	1	//
10	担架(折り畳み式)		1		//
11	白色ヘルメット		5		//
12	救急箱	脱脂綿・ガーゼ等	1	1	//
13	飲料水タンク		6		//
14	水槽(アクアフレックス)	青色	1		//
15	草刈り鎌		1		//
16	大型ビニルバッグ		1		//
17	モンキレンチ	300mm	1		//
18	ロープ	Φ10mm L=10m	1	1	//
19	防災資材収納箱(白)	1.5m×50cm×75cm	1		//
20	ヘッドライト	エナジー 150ルーメン	20		購入時期不明
21	ホンダ発電機 eu18i	1,800W インバーター	1		令和元年8月購入
22	燃料ガソリン携行缶	10ℓ用	2		//
23	発電機カバー		1		//
24	ライト支柱三脚	伸縮タイプ	1		//
25	LED投光器	30W 広角140°	2		//
26	カセットコンロ	イワタニ防風ユニット・ケース付き	1	1	//
27	LED懐中電灯(3個1組)	1,600ルーメン(充乾電池利用可)	1	1	//
28	LED懐中電灯用バッテリー×2		2	2	//
29	ハンド型メガホン	防滴・サイレン付き	1	1	//
30	ボルトクリップ	600mm	1	1	//
31	コードリール	防雨型30m	2		//
32	手回しラジオ	SONY ワイドFM搭載機	1	1	//
33	ガスコンロ用ボンバ 3本セット		2	2	//
34	乾電池セット	単三・単4	1	1	//
35	折りたたみ式ノコギリ	災害時倒木等処理用	1	1	令和2年11月購入
36	ナタ	//	1	1	//
37	木槌(かけや中)	災害時小型杭等の打設用	1	1	//
38	人感センサー付 LED移動型照明	単三乾電池	2		令和4年12月寄贈

※ 他に発電機用燃料(ガソリン)・オイルを保管、原則として1年毎に交換。冬季除雪機での利用あり。

各班戸数の状況

(令和5年5月末現在)

班名	戸数	班名	戸数
第1班	24	第8B班	9
第2班	23	第9A班	14
第3班	16	第9B班	15
第4A班	11	第10A班	11
第4B班	17	第10B班	21
第5班	14	第11班	14
第6A班	12	第12班	22
第6B班	16	第13班	4
第7班	15	第14班	2
第8A班	15		
小計	163	小計	112
		合計	275

※ 第14班(イエール真栄・ケアホーム真栄)は、賛助会員として2戸の加入を頂いております。

自治会内に所在している店舗・サポート住宅・自立支援事業所・歯科医院



たちばな蕎麦店



サポート住宅パティオ真栄・ケアホームイエール真栄



みどり歯科医院



もうり歯科クリニック

自治会集団資源回収の状況

「塵も積もれば山となる。」という諺は、誰もが知っている言葉です。『僅かなものでも積もると大きなものになる。』という例えですが、まさにそのとおりです。益して各家庭で不要となった言わばゴミ同然の物が、お金になるということですからこの上ない事業です。そして、そのお金が自治会の会計部に振り込まれ自治会の皆さんのために使われるという何と麗しき事でしょうか。それでは当自治会での集団資源回収について少しでも広報したいと存じます。

1 本事業の経緯

本事業は、平成26年4月20日(日)しんえい西自治会館で開催された第22次定期総会(出席会員数76名)において、苅田さん(9B班)の提案により始まりました。役員会において本事業は環境衛生部が担当することとなり、早速6月から西田環境衛生部長(当時)は情報収集を開始、札幌市に対し集団資源回収実施団体の登録を行い、9月5日許可通知を受けました。収集業者(北海道資源商事㈱)と調整の結果、当自治会は『毎月第2木曜日』が収集日となり、10月からの収集となりました。この年度は会員への周知不足や回収回数も6回と少ないことから多くの収益はありませんでした。

2 各年度の回収状況 (注:収益金額には、札幌市からの助成金を含んでいます。)

事業年度	回収回数	収益金額	議案書報告内容
平成26年度	6	12,770円	10月～3月の回収
平成27年度	12	63,926円	約30戸の協力あり。
平成28年度	12	57,093円	約30戸の協力あり。
平成29年度	12	78,926円	2月8日(日)全67戸の協力
平成30年度	12	102,777円	5年経過、定着しつつある。
令和1年度	12	105,278円	会員皆様の協力に感謝
令和2年度	12	82,133円	前年よりの減少はコロナ禍と回収単価の下落によるものです。回収量の減少ではありません。
令和3年度	12	76,363円	同上
令和4年度	12	72,386円	同上
合計	102	651,652円	9年間 年平均72,405円

※ 資料元:各年の定期総会議案書による。

3 今後の展望

- 『継続は力なり』あるいは冒頭でも述べましたが、「塵も積もれば山となる。」の諺のとおり、この事業は会員皆さんの小さな小さなためめ協力と捨てる資源をお金に換え、自治会の財政に少しでも協力する気持ちを持って誰にでも簡単に出来ることです。
- 回収業者の都合もあることですが、1ヵ月に1回の回収では各ご家庭での資源ごみの保管場所がなく、週2回の可燃物ゴミに出してしまい致し方ないことです。自治会内のどこか適当な場所に中古の物置でも設置して、自由に集積することができるとういのですが……。

● しんえい西自治会

表彰状

しんえい西自治会 様

貴会は緑の街づくりの一環である歩道などの花壇美化運動に積極的に参加され地域の緑化に大きく貢献されました
その努力と成果は他の模範となりますのでここに表彰いたします

平成10年9月17日

札幌市長 桂 信雄

感謝状

しんえい西自治会 様

貴自治会はかねて本市行政に深い関心をもたれこの度真栄あおぞら公園と風の子公園にしだれ桜を寄贈されましたことは緑化行政に大きく貢献するものであります

ここに深く感謝の意を表します

平成12年4月23日

札幌市長 桂 信雄

表彰状

しんえい西自治会 様

貴地区は平成28年度クリーンさっぼろ衛生モデル地区として環境美化ごみ減量につとめられその業績はまことに顕著であります
よってここに表彰します

平成28年10月29日

クリーンさっぼろ衛生推進連絡協議会

会長 河崎 快二

感謝状

しんえい西自治会 様

貴地区は永年にわたりクリーンさっぼろ活動を積極的に実践し環境美化ごみ減量に貢献された業績はまことに顕著であります

よってここに表彰します

平成29年11月17日

札幌市長 秋元 克広

● はるにれ会(地域老人クラブ)

感謝状

はるにれ会 様

貴クラブは平成15年度札幌市老人クラブ連合会が進めておられた老人クラブ会員の加入促進運動に当たり運動の趣旨をよく理解され大きな成果を上げられました 会員加入促進と高齢者の仲間づくりは魅力ある老人クラブ活動の原点であり私たちの誇りとするところであります クラブ会員加入促進にあたって寄与されました貴クラブのご努力を称え感謝状を贈ります

平成16年10月25日

社団法人 札幌市老人クラブ連合会

会長 山口 富美

感謝状

はるにれ会 様

貴会は札幌市民憲章を積極的に実践されその普及促進に尽くされた功績はまことに顕著であります ここにその功績を称え感謝の意を表します

平成18年3月13日

札幌市民憲章推進会議

議長 木原 直彦

表彰状

はるにれ会 様

あなたは多年にわたり清掃ボランティアとして地域の環境美化に寄与された功績はまことに大であります よってここに記念品を贈り深く感謝の意を表します

平成20年5月16日

清田区クリーンさっぼろ衛生推進協議会

会長 山田 幸四郎

感謝状

はるにれ会 様

貴会は永年にわたり本自治会の落葉清掃や公園の美化に寄与され 会員各位が気持ちよく過ごすことができるようにつとめられました また清田緑小学校向かいの花壇に色とりどりの花を植花して美しく咲かせたり 子ども達のために朝早くから通学路の交差点に立って交通指導を行ったりして下さいました その功績を称え会員一同を代表してここに深く感謝の意を表します

令和5年5月14日

しんえい西自治会 会長 花松 繁

資料⑩

自治会定期総会開催日一覧表

年 度	次	事 業 報 告 期 間	総会開催日	議 長	摘 要
平成4年度					(資料なし)
平成5年度	第 0 次	(自治会設立臨時総会)	5. 7. 4()		
平成5年度	第 1 次	平成5年1月～平成5年12月	6. 1. 23(日)		
平成6年度	第 2 次				(資料なし)
平成7年度	第 3 次				(資料なし)
平成8年度	第 4 次	平成7年1月～平成7年12月	8. 1. 21(日)		
平成9年度	第 5 次	平成8年1月～平成8年12月	9. 1. 26(日)		
平成10年度	第 6 次	平成9年1月～平成9年12月	10. 1. 18(日)		
平成11年度	第 7 次	平成10年1月～平成10年12月	11. 1. 17(日)		
平成12年度	第 8 次				(資料なし)
平成13年度	第 9 次	平成12年1月～平成12年12月	13. 1. 14(日)		
平成14年度	第 10 次				(資料なし)
平成15年度	第 11 次	平成14年4月～平成15年3月	15. 4. 27(日)		
平成16年度	第 12 次	平成15年4月～平成16年3月	16. 4. 25(日)		
平成17年度	第 13 次	平成16年4月～平成17年3月	17. 4. 24(日)	花 松 繁	
17年度臨時		J,comへの個人契約への切替検討審議	17. 5. 29(日)	花 松 繁	
平成18年度	第 14 次	平成17年4月～平成18年3月	18. 4. 23(日)	(記録なし)	
平成19年度	第 15 次	平成18年4月～平成19年3月	19. 4. 22(日)	瀬 戸 山 興 平	
平成20年度	第 16 次	平成19年4月～平成20年3月	20. 4. 27(日)	花 松 繁	
平成21年度	第 17 次	平成20年4月～平成21年3月	21. 4. 26(日)	(記録なし)	
平成22年度	第 18 次	平成21年4月～平成22年3月	22. 4. 25(日)	市 川 英 二	
平成23年度	第 19 次	平成22年4月～平成23年3月	23. 4. 24(日)	峯 西 一 樹	
平成24年度	第 20 次	平成23年4月～平成24年3月	24. 4. 29(日)	花 松 繁	
平成25年度	第 21 次	平成24年4月～平成25年3月	25. 4. 28(日)	花 松 繁	
平成26年度	第 22 次	平成25年4月～平成26年3月	26. 4. 20(日)	花 松 繁	
平成27年度	第 23 次	平成26年4月～平成27年3月	27. 4. 19(日)	花 松 繁	
平成28年度	第 24 次	平成27年4月～平成28年3月	28. 4. 17(日)	花 松 繁	
平成29年度	第 25 次	平成28年4月～平成29年3月	29. 4. 16(日)	花 松 繁	
平成30年度	第 26 次	平成29年4月～平成30年3月	30. 4. 15(日)	佐 藤 晟	
平成31年度	第 27 次	平成30年4月～平成31年3月	1. 5. 19(日)	和 田 優 一	
令和2年度	第 28 次	平成31年4月～令和2年3月	2. 4. 26(日)	コロナ禍により書面表決による定期総会実施	
令和3年度	第 29 次	令和2年4月～令和3年3月	3. 4. 25(日)	同 上	
令和4年度	第 30 次	令和3年4月～令和4年3月	4. 4. 17(日)	同 上	
令和5年度	第 31 次	令和4年4月～令和5年3月	5. 4. 22(日)	佐 藤 晟	

町内会に関する新聞記事3件

札幌圏記録的大雪に見舞われる

読売新聞(令和4年2月8日付)

読売新聞(令和4年2月8日付)



札幌市が町内会条例を制定

読売新聞(令和4年11月10日付)

2022年(令和4年)11月10日(木曜日) 読売新聞

札幌市が「町内会条例」

高齢化、加入率低下で支援

町内会の維持や活性化を図るため、札幌市で「未来へつなぐ町内会ささげあい条例」が制定された。地域住民の暮らしを支える町内会だが、高齢化や加入率の低下などの課題に直面している。市は「3捨2増」の維持管理費の助成など、町内会の負担軽減に向けて具体的支援を検討する。

「役員の高齢化が進み、加入率も下がっている」。マシソンなどが立ち並ぶ市によると、1978年に93%に上った市内の町内会の加入率は、2022年1月時点で69.6%に下がった。記録を取り始めた1973年以降で最低という。市内の町内会は「イミステーション」や街路灯の管理、環境美化などのほか、一人暮らしの高齢者や子どもたちの見守りも担う「パトナーシップ排雪」制度

費用助成、住民参加促進へ

来年4月施行の市条例で、町内会を「地域コミュニティ」の中核として、維持されるべき存在と位置づけた。市は町内会維持に向け、マシソンなど賃貸物件の入居者に対する町内会費の徴収や加入促進活動への協力を不動産会社に依頼する。条例ではまた、住民と町内会の意義や重要性について理解して参加や協力に努めること、町内会の運営

届けるなどの活動が行われた。松田さんらはずっと幅広い世代に参加を促すため、昨年、紙の回覧板を画像などに電子化し、SNSを活用して町内会委員に届ける「電子回覧板」を導入した。配布までも1週間ほどかかった紙の回覧板に比べ、LINE(ライン)を利用することで情報伝達が早くなった。「研修旅行の申し込みが増える効果も出た」という。松田さんは「住民同士のつながりを維持していきたい」と話。

側にも「異的な加入につながるような情報提供を努める」ことを求めている。同市市民自治推進課は「町内会は地域の暮らしをよくするために存在する代わりのない団体。条例で町内会の活性化や、加入率の向上につながってほしい」としている。

資料 ⑬

清田中央地区各町内会の発足状況等

令和5年1月末現在

No	町内会名	設立年月	設立時世帯数	加入現世帯数	現会長名	摘要
1	清田西町町内会	昭和53年4月	247	360	清水 邦彦	
2	清田南町町内会	昭和57年4月	198	245	大山 末光	
3	第二町内会	昭和58年4月	241	218	池川 博幸	
4	第三町内会	昭和58年4月	413	471	恩村 一郎	
5	第四町内会	昭和58年4月	118	283	岩田 誠司	
6	清田自治会	昭和58年4月	80	109	谷崎 和幸	
7	清田南中央町内会	昭和58年4月	319	390	今 紀治	
8	清田緑町町内会	昭和58年4月	353	394	角田 博嗣	
9	清田団地北町町内会	昭和58年4月	161	287	鈴木 亨	
10	清田東町町内会	昭和58年4月	307	270	村中 厚	
11	清田高台町内会	昭和58年4月	267	311	山下 政克	
12	清田団地元町町内会	昭和58年4月	233	704	高杉 昌利	
13	清田南若葉会	昭和59年4月	50	42	斉藤 正敏	
14	清田中央町内会	昭和59年4月	182	153	祐川 明輝	
15	清田ファミリタウン町内会	昭和63年3月	69	382	田利 守	
16	第五町内会	平成元年10月	45	575	森 謙一	
17	しんえい西自治会	平成5年7月	112	274	花松 繁	
18	清田メイユール喜寿自治会	平成10年4月	48	77	大藤 留美子	
19	ヒルズガーデン清田町内会	平成20年4月	500	609	中岡 智	
		合計	3,943	6,254		

※1 本資料元は、清田中央地区町内会連合会「30年のあゆみ」(令和2年10月)から、引用させて頂きました。

(鈴木町連会長承諾済)

※2 「加入世帯数」及び「現会長名」は、清田中央まちづくりセンターにご協力を頂きました。

編集後記

● 誰にでも生年月日があり、会社・店舗に創業年月日があるように、当自治会にも自治会の始まりの年月日が確定していてもおかしくありません。この度、「30年のあゆみ」を編集するにあたって、その起点をどこに求めるか？自治会がスタートしたのはいつだったのか？どのような背景があったのか？自治会の書庫をいろいろ探しました。● 結果、ありました。平成5年6月20日付の自治会設立臨時総会の文書です。詳細は、本誌7～8頁に全文掲載しましたが、明らかに当自治会の設立年月日を特定(証明)する貴重な文書でした。

● この文書を残してくれた当時の先輩役員に「心から有難う。」を申し上げます。● 花松 繁 第4代自治会長は、平成30年4月 会長に就任されました。既に、この時、自治会が30年の節目を迎えることを心しておられ、華々しい行事はあり得ないだろうが、先輩諸氏が自治会の基礎を築いてくれた記録は、後世に残しておくべきと… ● 令和2年6月 役員及び役員経験者からなる8名による30周年検討委員会を開催、以降、数回の会議を経て、「行事・記念品等は実施しないが、手作りの30年のあゆみを作成する。」という重要な方向性を策定して頂きました。● この検討委員会会議に先立って発生した新型コロナ感染症は、全世界を震撼させました。本検討会議も多大な影響を受け、コロナを警戒してのマスク越しの会議はもどかしいものがありました。

● 令和4年7月 花松会長は、本誌発刊を何とか形あるものにしていきたいという思いから、瀬戸山顧問に30年のあゆみ編集を特命委嘱すると共に、この事務を四役において継承することを決断しました。● 30年という長い期間は、資料に乏しく編集する者にとって大きな障害となったことは間違いありません。「無」から「有」を生み出すことの難しさを身をもって体感いたしました。● このような状況の中、川村信人氏の寄稿は本当に嬉しく、本誌に光明を与えた内容で自治会会員にとっても自分たちが住む地域の地質学的考察はどこにもないものです。貴重な論文寄稿に感謝の念で一杯です。● 本誌は、素人による手作り冊子で配布を受けた方々の期待を裏切っていることは重々承知しております。川村信人氏の寄稿部分を除いては、誤字脱字、紙面内容不一致等お見苦しい箇所が随所にありますことを深謝いたします。● もし、正しい情報があり、訂正・修正すべきところがありましたら、ご面倒ですが発行責任者(自治会長)までご連絡下さい。● 本誌は、冊子配布のほかにITによる配信も準備されており、パソコンで閲覧可能となっており、まさに時代にマッチした手法となっております。● ITの方は、逐次訂正・修正され最新の情報掲載となっていくものと存じます。● 最後に本誌が、向後10年、20年後にひも解かれたとき、どこか一行でも二行でも会員の皆様のご参考になることがありましたらこの上ない喜びであります。

(しんえい西自治会30年のあゆみ編集担当者)

令和5年7月吉日

自治会30周年検討委員会

(1～3回:記念誌委員会・4～8回:記念行事委員会)

(令和2年6月～令和4年 月)

会 長	花 松 繁	委 員	大 馬 力
委員長	瀬戸山 興 平	”	田 中 裕 二
副委員長	東 厚 志	”	佐 崎 芳 郎
委 員	水 嶋 初 枝	”	岡 本 美 幸
”	川 村 信 人	”	伊 東 真 弓

四役会議メンバー

(令和4年7月～令和5年8月)

会 長	花 松 繁
副会長	水 嶋 初 枝
総務部長	東 厚 志
会計部長	若 月 省 三
編集特命委嘱者(顧問)	瀬戸山 興 平